

# 本巢市地域公共交通計画

令和2年6月24日

本巢市地域公共交通活性化協議会



# 目 次

第1章 計画の概要	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画策定から推進までの流れ	2
(3) 計画の区域	2
(4) 計画の期間	2
第2章 地域及び地域公共交通の現状	3
1. 地域の現状	3
(1) 沿革・位置・地勢	3
(2) 人口	3
(3) 通勤・通学流動	6
(4) 運転免許保有状況	8
(5) 交通事故件数	8
(6) 自動車運転免許証の返納	9
2. 公共交通の現状	10
(1) 樽見鉄道	10
(2) 路線バス	14
(3) 本巣市市営バス（根尾地域）	17
(4) 本巣市市営バス（本巣・糸貫・真正地域）	20
(5) 関連事業	28
第3章 利用者及び市民ニーズ	30
(1) 市営バス利用者アンケート調査	30
(2) 市民アンケート調査	35
(3) ワークショップ	39
第4章 地域公共交通の課題	44
(1) 市営バス	44
(2) 路線バス	44
(3) 樽見鉄道	44
(4) 地域公共交通ネットワーク	45
(5) その他	45
第5章 基本的な方針	46
(1) 上位・関連計画	46
(2) 目指すべき将来像	49
(3) 取り組みの方向性	50
(4) 地域公共交通ネットワークの分類と求められる機能	51
第6章 計画の目標	52
(1) 目標	52
(2) 数値指標・目標値	53

<b>第7章 目標達成のための事業</b> .....	<b>55</b>
(1) 市営バスに関する事業.....	55
(2) 路線バスに関する事業.....	60
(3) 樽見鉄道に関する事業.....	61
(4) 地域公共交通ネットワークに関する事業.....	62
(5) デマンド交通の検討.....	63
(6) その他の事業.....	64
(7) 実施スケジュール・実施体制.....	66
<b>第8章 計画の達成状況の評価</b> .....	<b>68</b>
(1) 評価方法.....	68
(2) 評価スケジュール（計画の進捗管理）.....	70

## 第1章 計画の概要

### (1) 計画策定の趣旨

近年、鉄軌道やバスなど地域公共交通は、モータリゼーションの進展、大規模店舗の郊外化、道路網の整備などに伴い、利用者が大幅に減少しています。

本巢市においても例外ではなく、鉄道では岐阜市方面と結ぶ名鉄揖斐線が、利用者減少に伴う経営悪化により2005年（平成17年）3月に廃止されました。また、大垣市と本巢市を結ぶ樽見鉄道は、大規模店舗モレラ岐阜の開業に伴い、一時的に利用者は増加に転じましたが、貨物輸送廃止の影響もあり経営は厳しい状況が続いています。

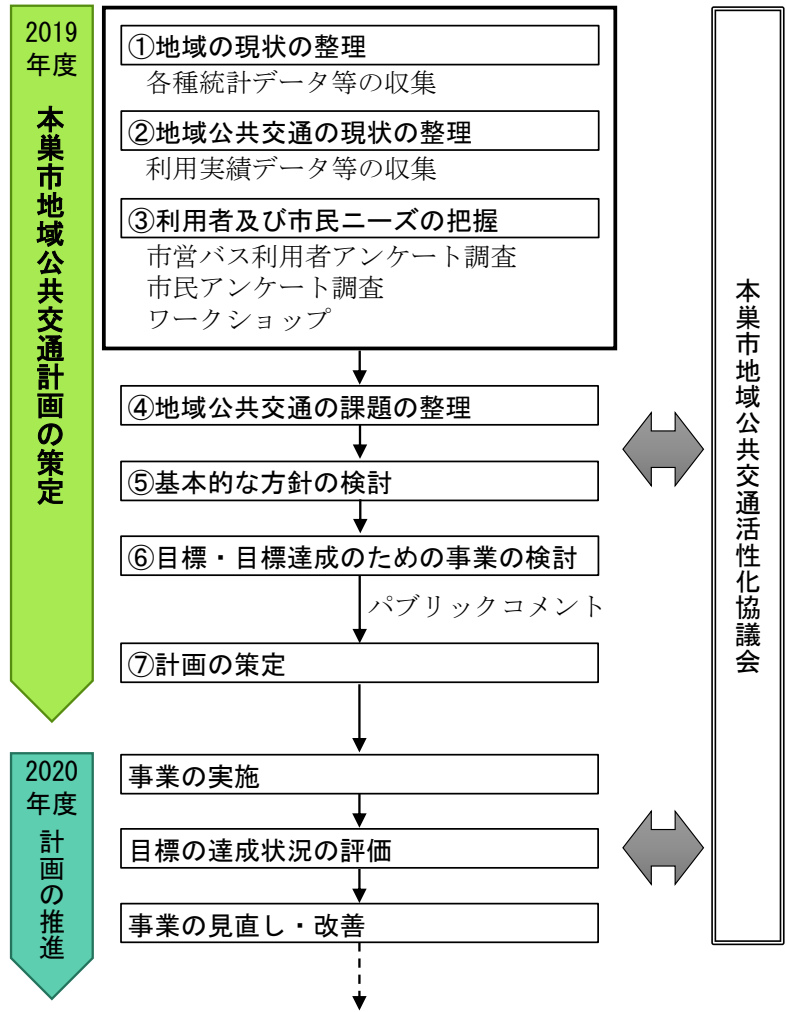
一方、市営バスにおいては、根尾能郷線、根尾宇津志線、根尾松田・奥谷線及び本巢北部線（旧ササユリ）が旧町村時代から、本巢・糸貫線、真桑線、弾正線が市町村合併時から運行しています。2009年度（平成21年度）からは「本巢市地域公共交通総合連携計画」に基づき、路線再編や利用促進策などを実施してきましたが、利用者は減少し続けていました。そこで、2017年（平成29年）9月に本巢北部線のバロー本巢文殊店への乗り入れ、本巢・糸貫・真正地域運行路線の分割（2路線から3路線）等を行いました。その結果、本巢・糸貫・真正地域の路線では利用者が微増傾向に転じています。

また、路線バスにおいては、岐阜バス6路線が市内で運行されています。そのうち大野穂積線については、沿線自治体（本巢市、瑞穂市、大野町、北方町）により支援を行なうとともに、「2市2町広域公共交通連絡会議」を設置し、具体的な取組についての協議を行い、その結果、2019年（平成31年）4月より快速便の運行を開始することができました。

このような背景のもと、本巢市における地域公共交通の課題を再整理するとともに、課題解決と更なる活性化に向けて、目標とその目標を達成するための事業を定めた「本巢市地域公共交通計画」を策定します。

(2) 計画策定から推進までの流れ

計画策定及び推進は、以下のフローに基づいて行います。



(3) 計画の区域

本巢市全域

(4) 計画の期間

2020年度（令和2年度）～2025年度（令和7年度） 6年間

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	...	2040	
① 本巢市地域公共交通計画 (2020～2025)						6年間								
② 本巢市第2次総合計画 (2016～2025)		前期基本計画・5年間					後期基本計画・5年間							
③ 本巢市第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2015～2019)	5年間						第2期計画 策定予定							
④ 本巢市人口ビジョン (2015～2040)	25年間													
⑤ 本巢市都市計画マスタープラン (2018～2025)						8年間								
⑥ 本巢市第3期地域福祉計画 (2018～2022)		第2期計画			5年間									

## 第2章 地域及び地域公共交通の現状

### 1. 地域の現状

#### (1) 沿革・位置・地勢

2004年（平成16年）2月に、根尾村、本巣町、糸貫町、真正町の3町1村が合併して、本巣市が誕生しました。

本巣市は、岐阜県の西南部の中央から北端に位置し、本庁舎から岐阜市の中心部まで最短で約11km、大垣市まで約15km、名古屋市までは約38kmの距離にあります。北部は福井県大野市、東部は岐阜市、山県市、関市、北方町、南部は瑞穂市、西部は大野町と揖斐川町に接しています。

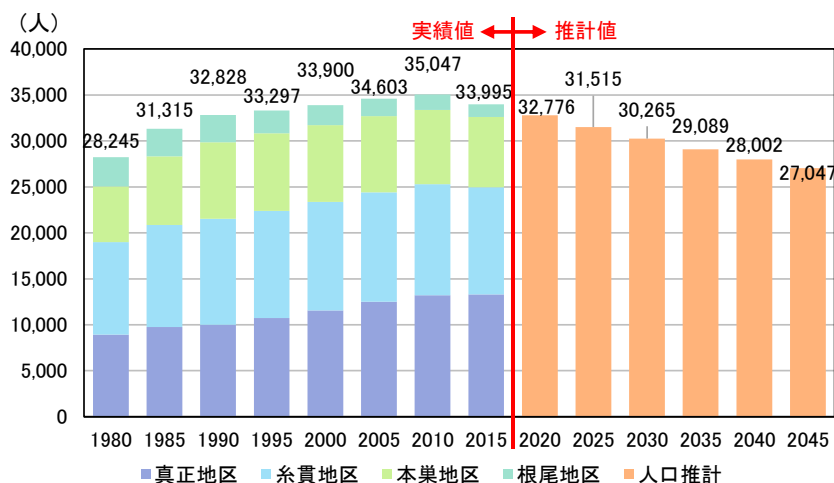
地形は南北に細長く、揖斐川水系の根尾川が南北に流れ、北に山間部、南に平野部が広がり、総面積は約375km<sup>2</sup>でそのうち森林が約86%を占めています。

#### (2) 人口

本巣市の人口は、2010年（平成22年）の35,047人をピークに、減少傾向に転じています。地域別に見ると、真正地域以外の地域で減少しています。

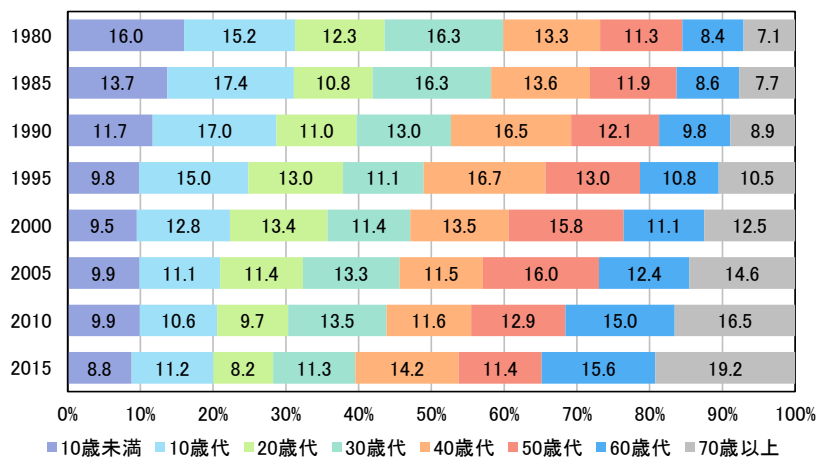
人口構成は、60歳以上の割合が増加しており、特に70歳以上が急増しています。人口分布は、市南部の、特に樽見鉄道北方真桑駅周辺に集中しています。

図表2-1 人口の推移



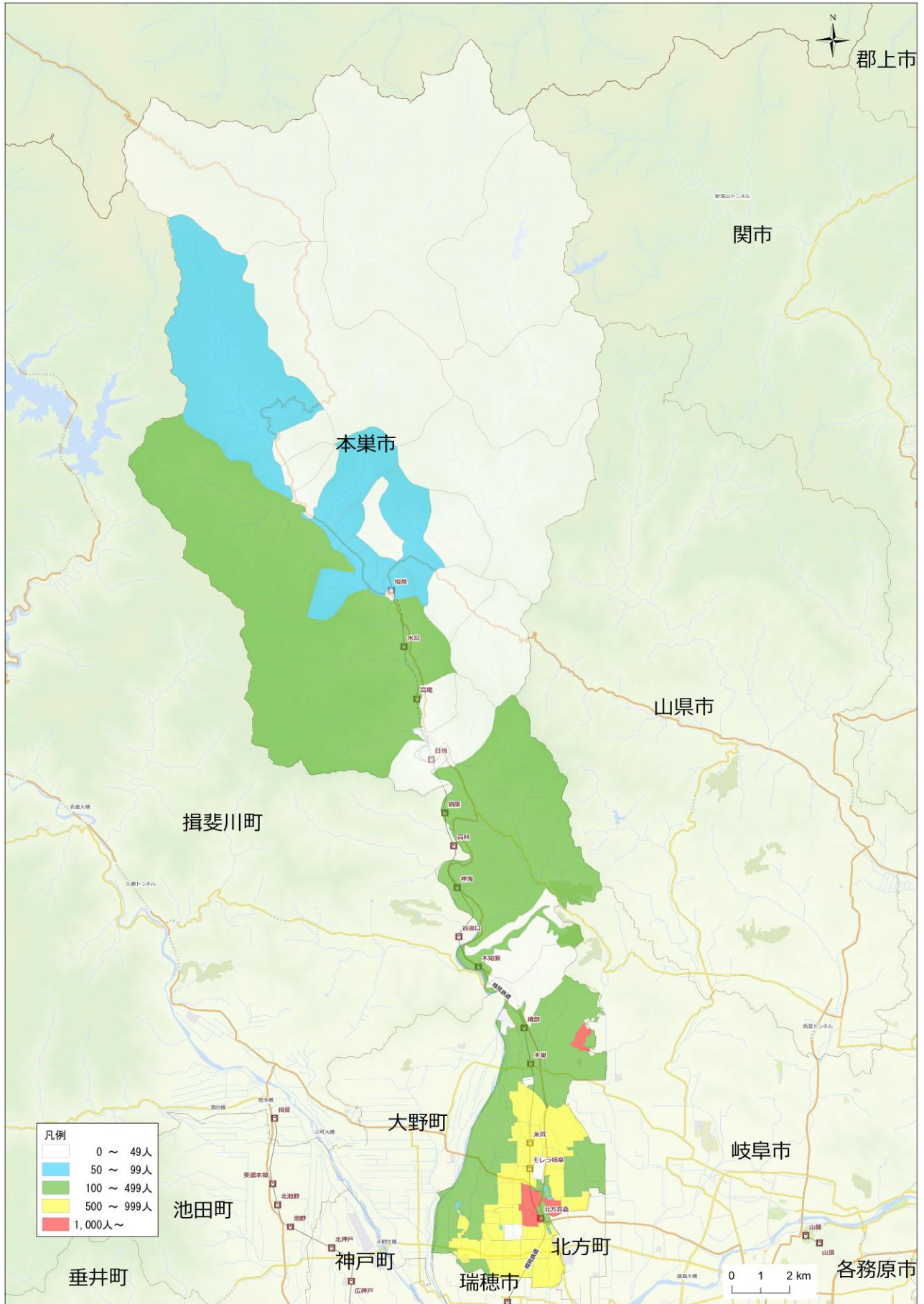
出典：国勢調査(実績値)，本巣市人口ビジョン(推計値)

図表2-2 人口構成の変化



出典：国勢調査

図表2-3 人口の分布（町丁別）

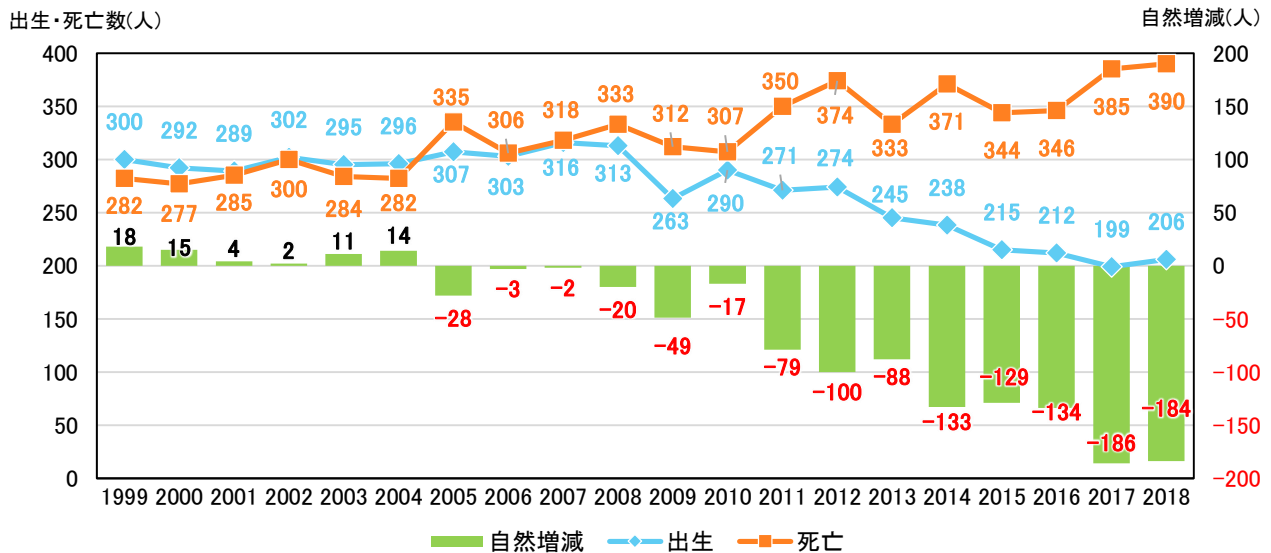


出典：2010年国勢調査



約20年間の本巣市における出生数をみると、2007年（平成19年）の316人までは横ばいで推移していましたが、その後減少傾向となっています。一方で死亡数は2005年（平成17年）以降増加傾向にあり、出生数を死亡数が上回る自然減が続いています。

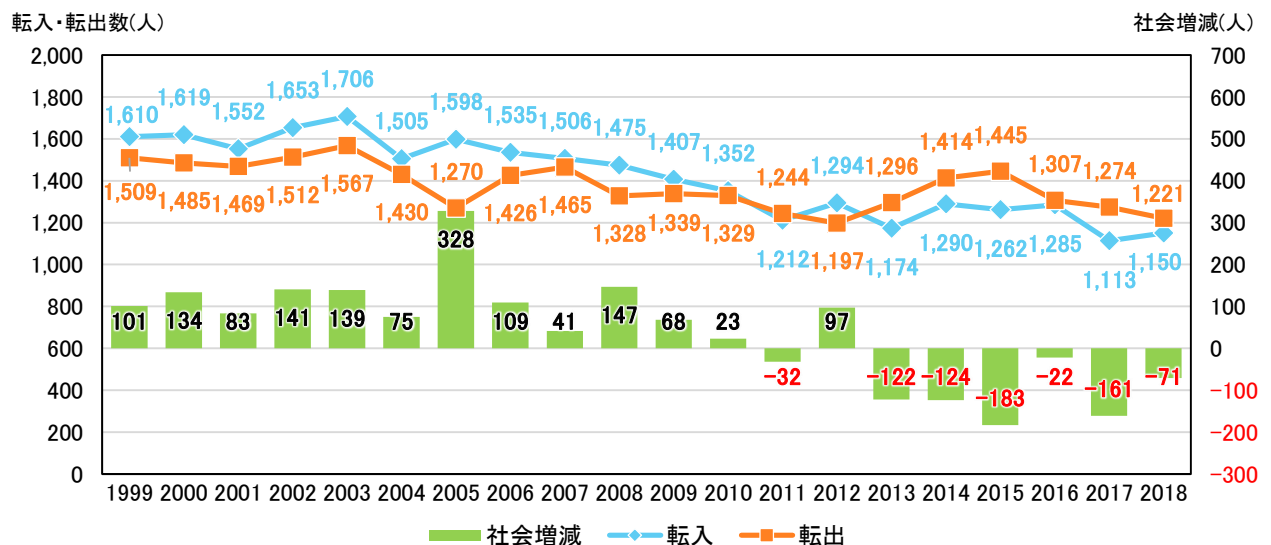
図表2-4 自然動態（出生・死亡）の状況



出典：厚生労働省「人口動態統計」（1月～12月の1年間、日本人）

約20年間の本巣市の転入の状況をみると、2003年（平成15年）の1,706人までは増加傾向にありましたが、その後減少傾向になっています。一方で転出数においては増減を繰り返しながら推移し、2012年（平成24年）までは概ね社会増の傾向にありましたが、2013年（平成25年）以降は転出数が転入数を上回る社会減となっています。

図表2-5 社会動態（転入・転出）の状況



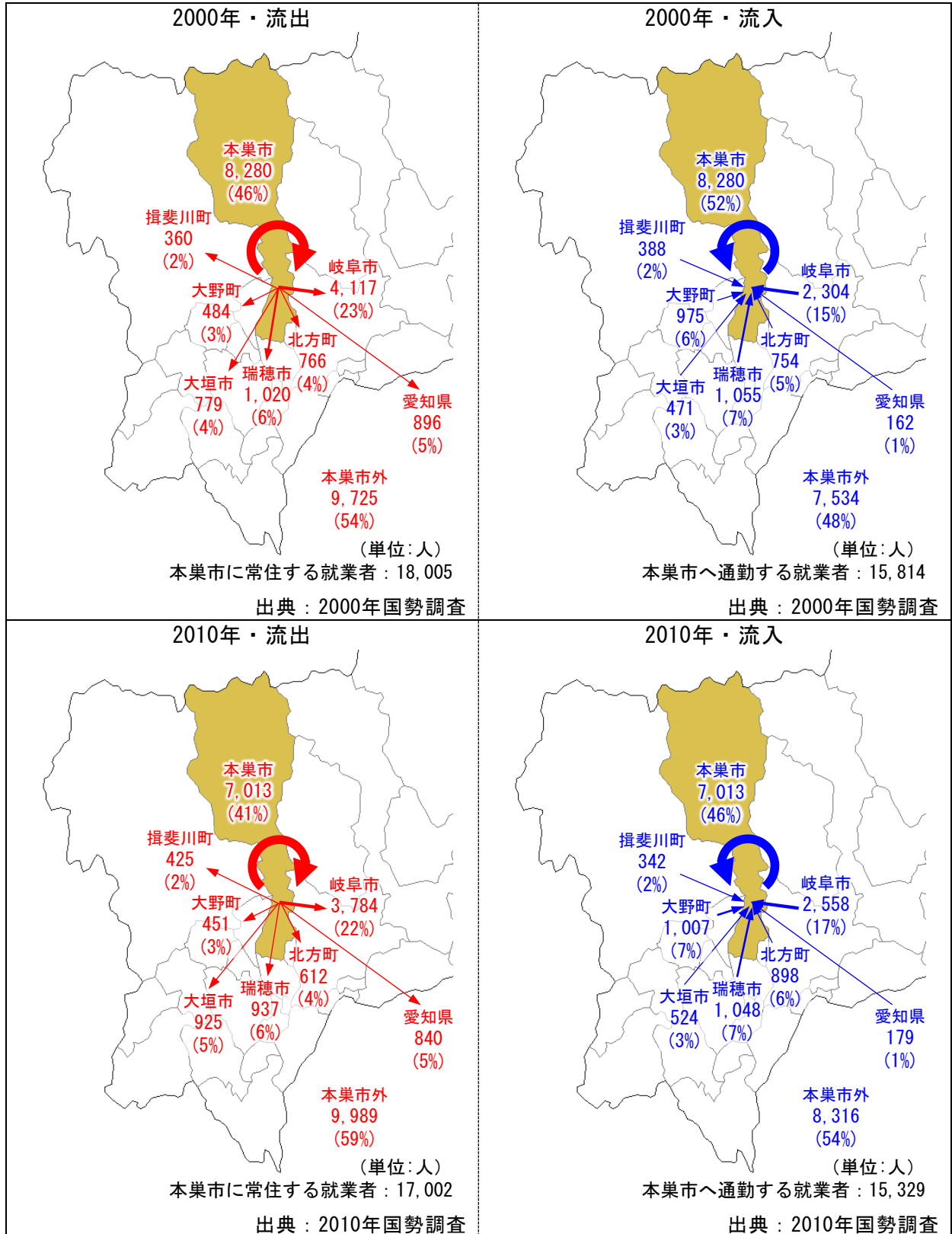
出典：岐阜県統計課「人口動態統計調査」（年報より）

### (3) 通勤・通学流動

通勤流動を見ると、10年間で本巢市外への流出割合は5%上昇しましたが、本巢市外からの流入割合も6%上昇しています。

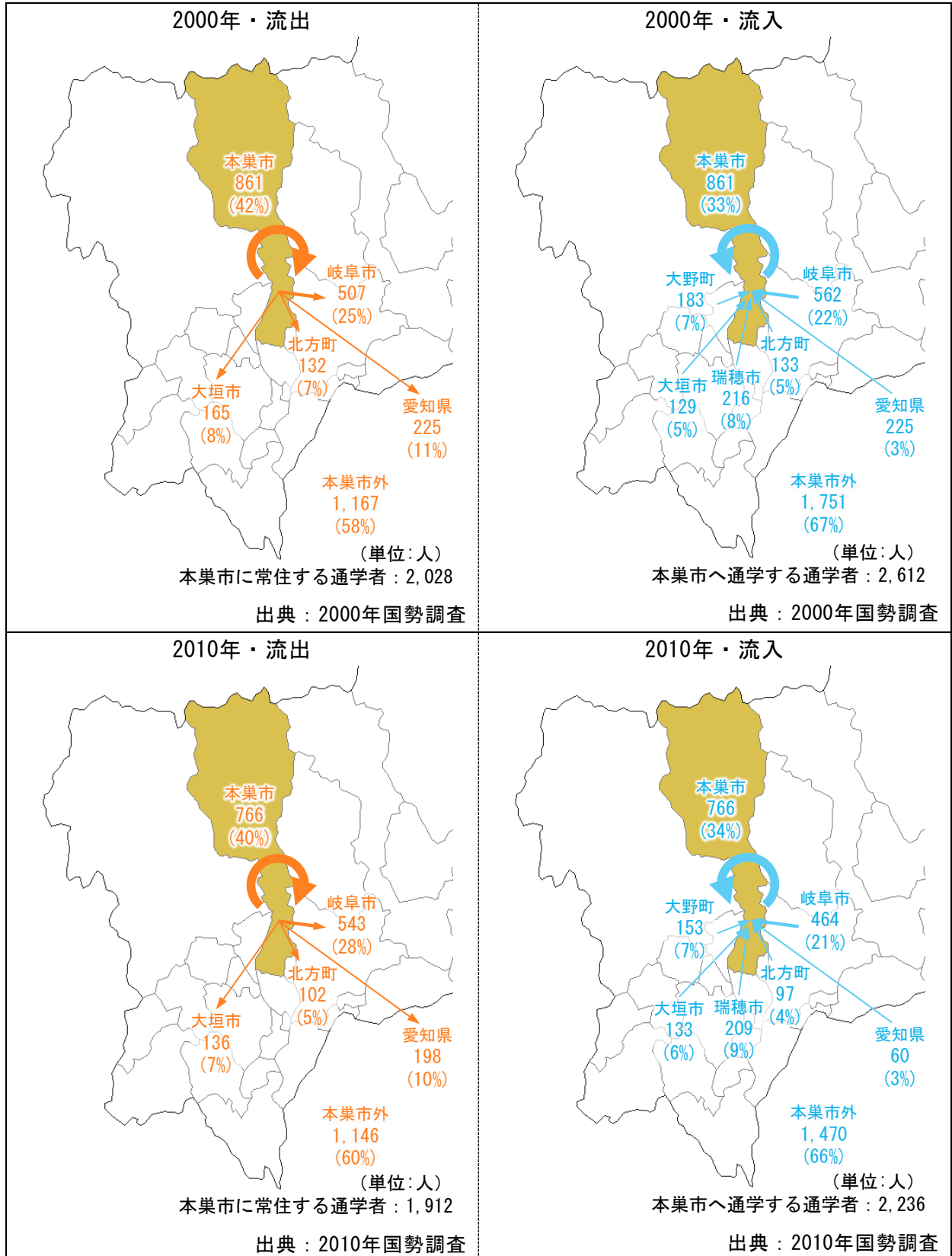
流出・流入とも本巢市内が最も多く、次いで岐阜市が多くなっています。

図表2-6 『通勤』流動



通学流動を見ると、通勤と同様、流出・流入ともに本巣市内が最も多く、次いで、岐阜市が多くなっています。瑞穂市は、本巣市からの流出はわずかですが、本巣市への流入は岐阜市に次いで多くなっています。

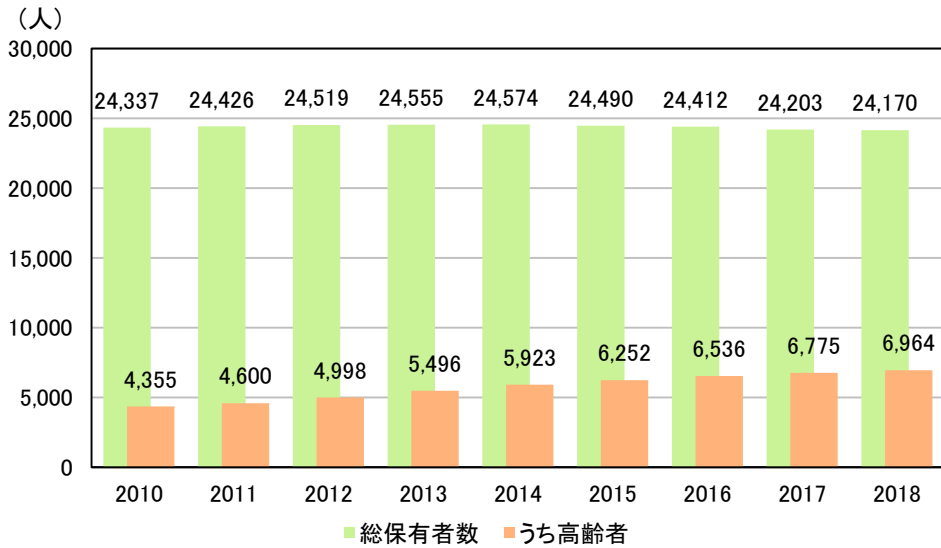
図表2-7 『通学』流動



#### (4) 運転免許保有状況

市民の自動車運転免許保有者数は2014年（平成26年）まで増加していましたが、以降は減少に転じています。一方で、高齢者免許保有者数は増加しています。

図表2-8 自動車運転免許保有者数の推移

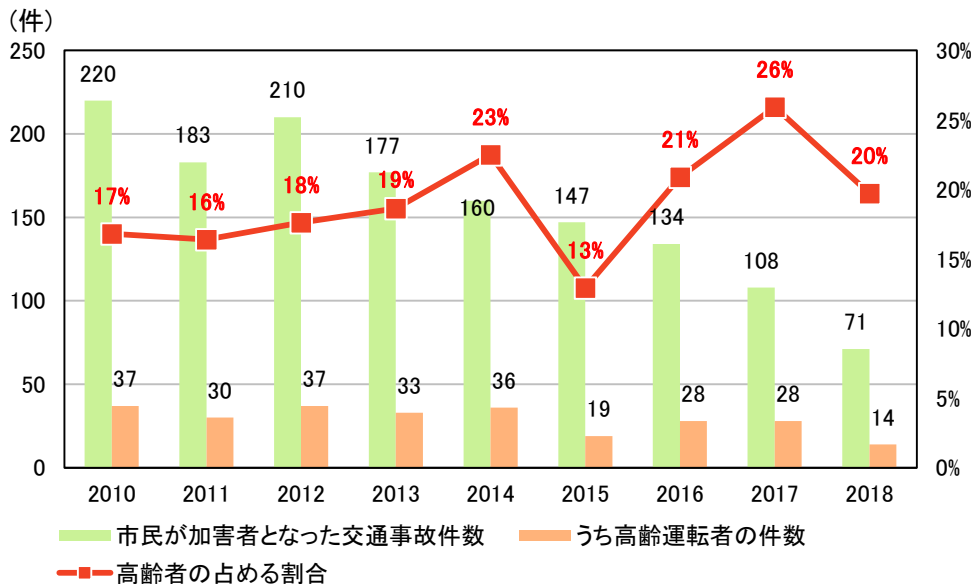


出典：岐阜県警

#### (5) 交通事故件数

市内の交通事故件数は減少傾向にありますが、高齢運転者が加害者となる事故件数はほぼ横ばいで推移しています。

図表2-9 市民が加害者となった交通事故件数・うち高齢運転者の件数

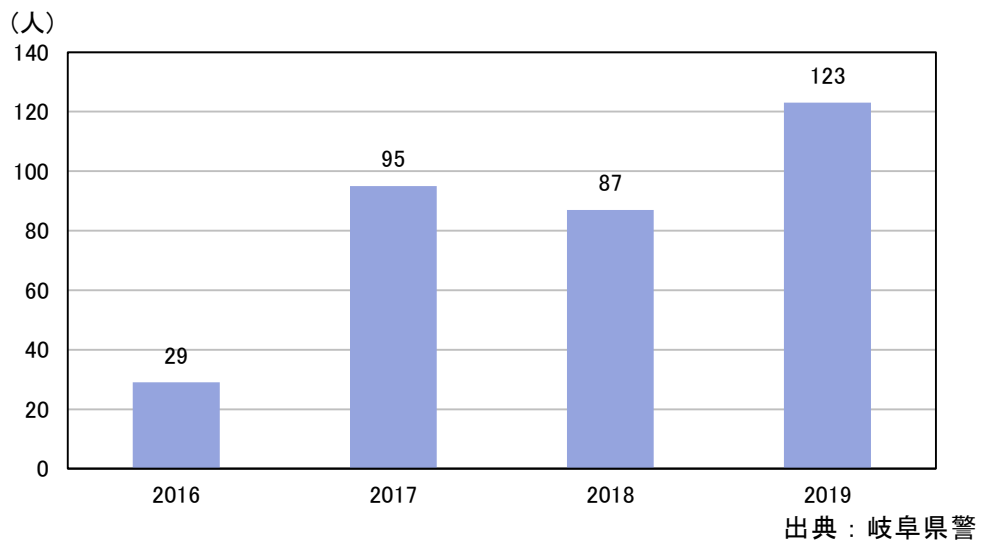


出典：岐阜県警

### (6) 自動車運転免許証の返納

市民の運転免許証の返納者数は増加しており、今後もこの傾向が続くと考えられます。

図表2-10 自動車運転免許証返納者の推移



## 2. 地域公共交通の現状

### (1) 樽見鉄道

#### 1) 概要

樽見鉄道は、大垣駅（大垣市）と樽見駅（本巣市樽見）を結ぶ営業キロ34.5km・全線単線の路線です。従来は、セメント輸送のため大垣駅一本巣駅間には貨物列車が運行され、営業収入の約4割を占めていましたが、2006年（平成18年）3月28日限りで貨物列車の運行が終了し、経営にも大きく影響を及ぼしています。

経営改善策として、イベント列車の運行や企画切符の販売等が行われているほか、2019年度（令和元年度）からは、上下線合わせて6便増便し、利便性向上も図られています。

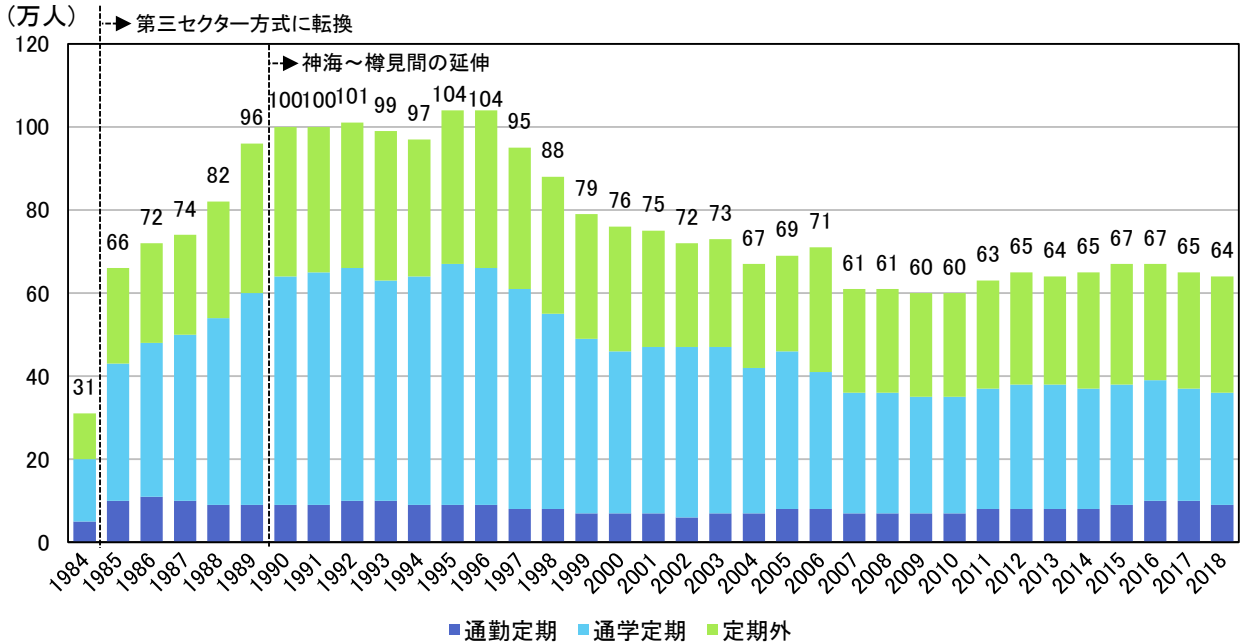
図表2-11 経緯

1980年(昭和55年)	国鉄樽見線は赤字ローカル線として国から廃止対象
1984年(昭和59年)	第三セクター方式に転換
1989年(平成元年)3月	神海～樽見(10.9km)が延伸開業(全線34.5km)
1993年(平成5年)6月	薬草列車の運転開始
1994年(平成6年)5月	ヘルシー列車の運転開始
1995年(平成7年)12月	グルメ列車の運転開始
1998年(平成10年)9月	レールバス&鮎やな料理列車の運転開始
2002年(平成14年)4月	織部駅開業(織部の里もとす)
2003年(平成15年)12月	しし鍋列車の運転開始(グルメ列車廃止)
2005年(平成17年)～	沿線5市町から年間1億円前後の財政支援を受け収支改善計画に取り組む
2006年(平成18年)	モレラ岐阜駅開業 大垣～本巣(16.2km)の貨物営業廃止
2009年(平成21年)2月	ECOフライデー300の販売開始
2011年(平成23年)5月	運転体験講習会を開始
2015年(平成27年)4月	大垣駅、本巣駅を除く各駅に市民駅長を委嘱
2017年(平成29年)11月	観光列車「ねおがわ」の運転開始
2019年(平成31年)4月	上下線合わせて6便増便

## 2) 利用実態

輸送人員は1995年度（平成7年度）までは増加し、それ以降は減少傾向が続いていましたが、2007年度（平成19年度）以降は横ばいとなっています。2018年度（平成30年度）の輸送人員は64万人であり、ピーク時（平成7年度（1995年度）の104万人）の約6割となっています。

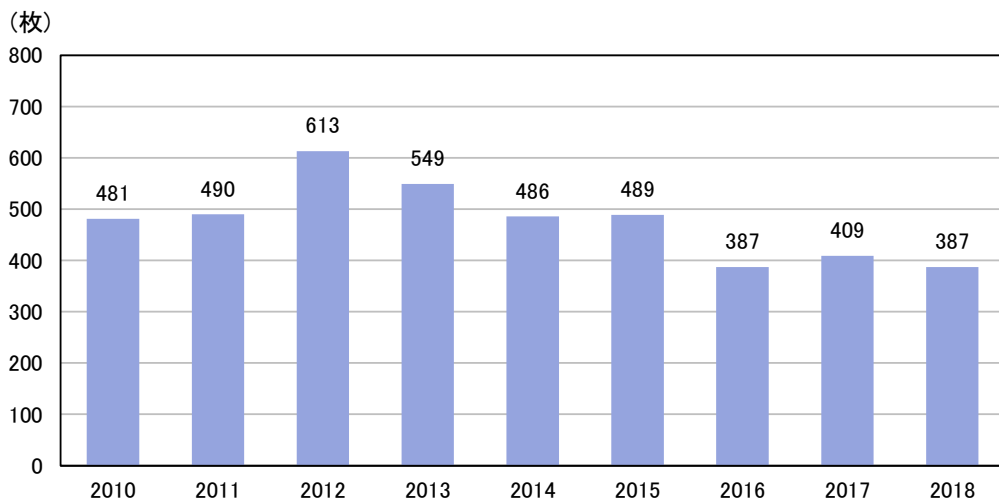
図表2-12 輸送人員の推移



単位: 万人

年度	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
1984	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
通勤定期	5	10	11	10	9	9	9	9	10	10	9	9	9	8	8	7	7	7
通学定期	15	33	37	40	45	51	55	56	56	53	55	58	57	53	47	42	39	40
定期外	11	23	24	24	28	36	36	35	35	36	33	37	38	34	33	30	30	28
合計	31	66	72	74	82	96	100	100	101	99	97	104	104	95	88	79	76	75
2002	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
通勤定期	6	7	7	8	8	7	7	7	7	8	8	8	8	9	10	10	9	
通学定期	41	40	35	38	33	29	29	28	28	29	30	30	29	29	29	27	27	
定期外	25	26	25	23	30	25	25	25	25	26	27	26	28	29	28	28	28	
合計	72	73	67	69	71	61	61	60	60	63	65	64	65	67	67	65	64	

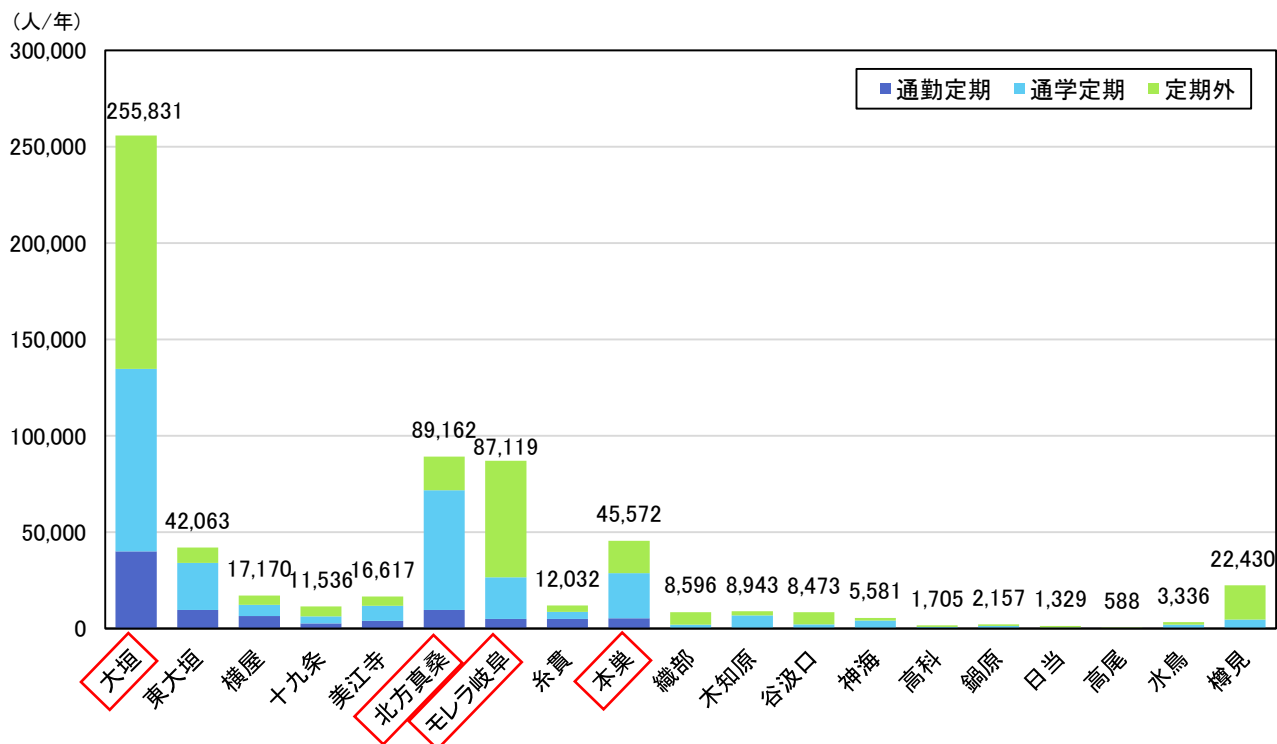
図表2-13 樽鉄シルバー会員申請枚数の推移



駅別の乗車人数をみると、大垣駅が最も多く全体の4割を占めています。次いで、本巣市内に位置する北方真桑駅、モレラ岐阜駅が多くなっています。

券種別の割合をみると、横屋駅及び糸貫駅では、通勤定期の割合が高くなっています。モレラ岐阜駅、織部駅、谷汲口駅、樽見駅では、定期外の割合が高くなっており、これは観光や買い物目的での利用が多いためであると考えられます。また、本巣松陽高校や岐阜第一高校の最寄駅である北方真桑駅、大垣商業高校の最寄駅である東大垣駅では、通学定期の割合が高くなっています。

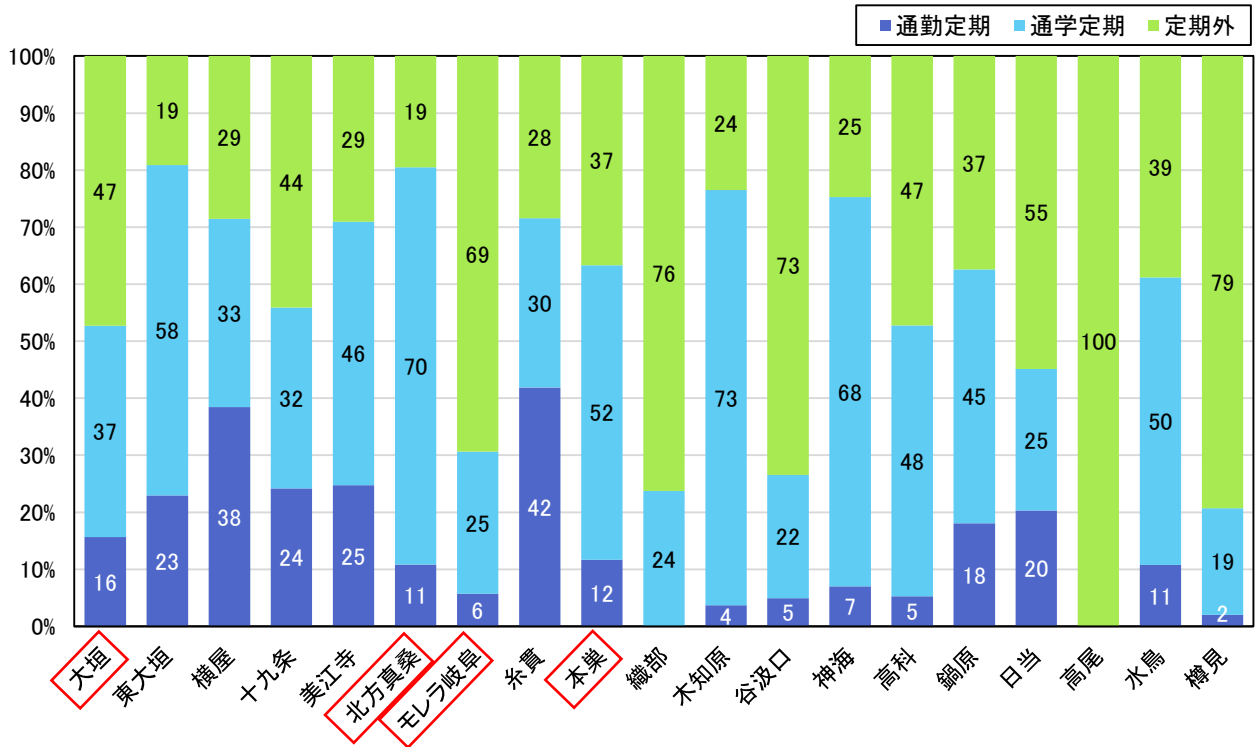
図表2-14 駅別券種別乗車人数（2018年度）



	通勤定期	通学定期	定期外	合計
大垣	40,020	94,770	121,041	255,831
東大垣	9,660	24,360	8,043	42,063
横屋	6,600	5,670	4,900	17,170
十九条	2,790	3,660	5,086	11,536
美江寺	4,110	7,680	4,827	16,617
北方真桑	9,630	62,160	17,372	89,162
モレラ岐阜	4,980	21,690	60,449	87,119
糸貫	5,040	3,570	3,422	12,032
本巣	5,310	23,550	16,712	45,572
織部	0	2,040	6,556	8,596
木知原	330	6,510	2,103	8,943
谷汲口	420	1,830	6,223	8,473
神海	390	3,810	1,381	5,581
高科	90	810	805	1,705
鍋原	390	960	807	2,157
日当	270	330	729	1,329
高尾	0	0	588	588
水鳥	360	1,680	1,296	3,336
樽見	450	4,200	17,780	22,430
合計	90,840	269,280	280,120	640,240



図表2-15 駅別券種別割合（2018年度）

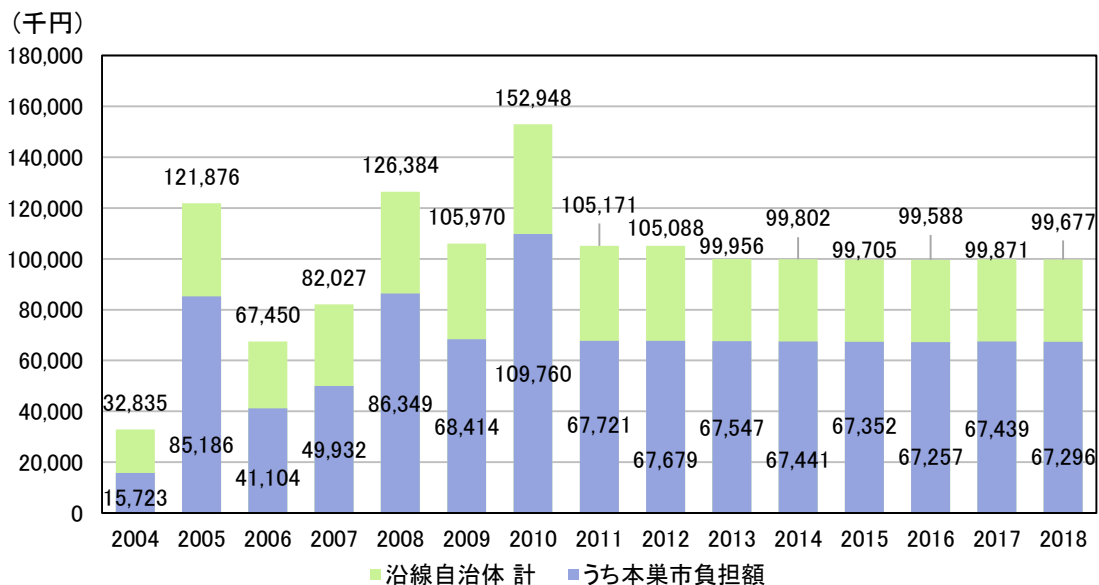


### 3) 経営状況

2018年度（平成30年度）の経営状況は、収益約1億8,100万円、経費約2億2,200万円、経常損益約4,000万円の赤字、営業係数（100円の収入を得るために必要な営業費用）は122と非常に厳しい状況です。

そのため、樽見鉄道は経営改善計画を策定し、人員削減をはじめ経費節減による経営効率化や増収策による経営改善に最大限の努力を払うとともに、沿線自治体（本巣市、大垣市、瑞穂市、北方町、揖斐川町）から、財政支援を受けている状況です。

図表2-16 沿線自治体支援額の推移



## (2) 路線バス

### 1) 概要

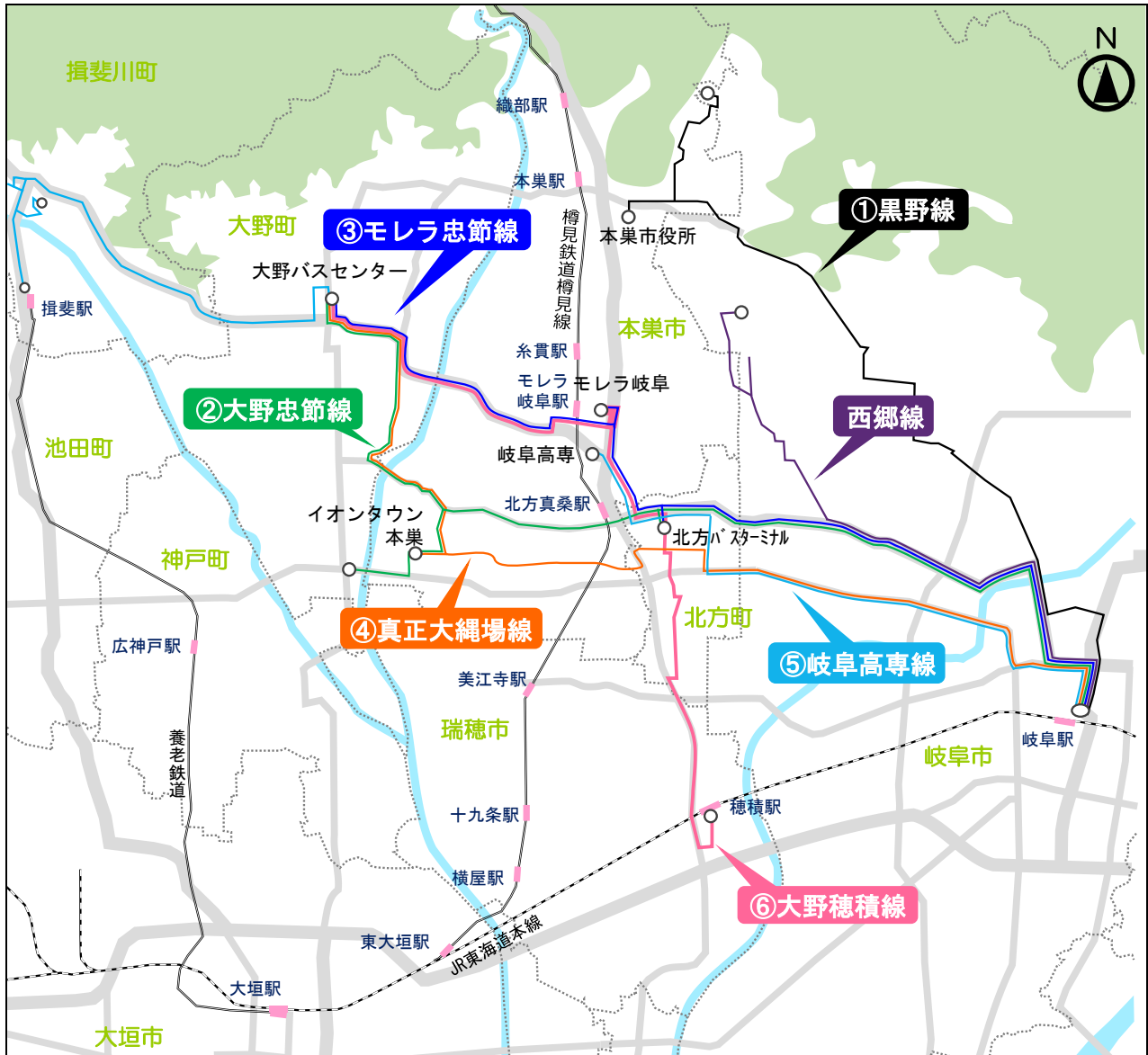
本巣地域の路線バスは、黒野線の1路線があります。黒野線は、多くの便が岐阜市御望野発着です。本巣市内に乗り入れる西秋沢・宝珠ハイツ発着は、朝夕の通勤・通学時間帯を中心に、本巣市役所発着は1～2時間間隔で運行しています。

糸貫・真正地域の路線バスは、忠節・岐阜駅方面と穂積駅方面の2種類に分かれています。忠節・岐阜駅方面は、大野忠節線、モレラ忠節線、真正大縄場線、岐阜高専線の4路線があります。

穂積駅方面は大野穂積線があり、沿線自治体（本巣市、瑞穂市、大野町、北方町）から財政支援を受けています。大野穂積線は2019年（平成31年）4月より快速便が運行しています。

根尾地域においては、1984年（昭和59年）の樽見能郷線の廃止以降、路線バスは運行していません。

図表2-17 路線概要図



図表2-18 路線バスのサービス水準と利用者数

データ：2018.10-2019.09

路線名	運行日	運行時間及び運行本数		利用者数
		(上り)	(下り)	
①黒野線	平日	5～21時 54本 (6～20時 28本)	8～23時 54本 (8～22時 26本)	672,143人/年 (1,840人/日)
	土日祝	6～20時 37本 (6～19時 25本)	7～22時 37本 (8～22時 24本)	
②大野忠節線	平日	5～21時 36本	7～23時 31本	433,432人/年 (1,190人/日)
	土日祝	6～21時 18本	7～23時 18本	
③モレラ忠節線	平日	6～22時 19本	7～22時 18本	334,524人/年 (920人/日)
	土日祝	9～22時 18本	8～21時 18本	
④真正大縄場線	平日	5～21時 25本	7～22時 26本	297,386人/年 (810人/日)
	土日祝	5～20時 24本	8～22時 24本	
⑤岐阜高専線	平日	16～17時 4本	7～8時 4本	58,863人/年 (240人/日)
	土日祝	運休	運休	
⑥大野穂積線	平日	6～19時 15本	7～22時 15本	55,664人/年 (150人/日)
	土日祝	7～18時 6本	7～18時 6本	

※運行時間：上りは発時刻、下りは着時刻

※黒野線の運行時間及び運行本数の（ ）内は本巣市内のバス停を通過する便のみの値

また、毎月18日のみ運行される「名鉄岐阜駅Eのりば⇄谷汲山」の便は除く

## 2) 利用実態

## ①券種別利用者数

大野穂積線は、現金での利用割合が46.6%と最も高く、次いでモレラ忠節線が34.6%となっています。

岐阜高専線は、岐阜工業高等専門学校への通学用路線であるため、通学定期割合が非常に高くなっています。その他の路線では、大野忠節線で通学定期割合が高くなっています。

図表2-19 券種別年間利用者数（2019補助年度）

路線名	年間利用者数(人/年)						
	計	現金	アユカ	定期	うち通勤	うち通学	
岐阜バス	①黒野線	672,143	157,858 (23.5%)	280,125 (41.7%)	234,160 (34.8%)	104,407 (15.5%)	129,744 (19.3%)
	②大野忠節線	433,432	103,416 (23.9%)	151,363 (34.9%)	178,653 (41.2%)	55,804 (12.9%)	122,818 (28.3%)
	③モレラ忠節線	334,524	115,644 (34.6%)	119,239 (35.6%)	99,641 (29.8%)	28,516 (8.5%)	71,103 (21.3%)
	④真正大縄場線	297,386	78,670 (26.5%)	116,507 (39.2%)	102,209 (34.4%)	41,340 (13.9%)	60,858 (20.5%)
	⑤岐阜高専線	58,863	6,707 (11.4%)	10,429 (17.7%)	41,727 (70.9%)	1,145 (1.9%)	40,582 (68.9%)
	⑥大野穂積線	55,664	25,938 (46.6%)	18,251 (32.8%)	11,475 (20.6%)	2,857 (5.1%)	8,618 (15.5%)

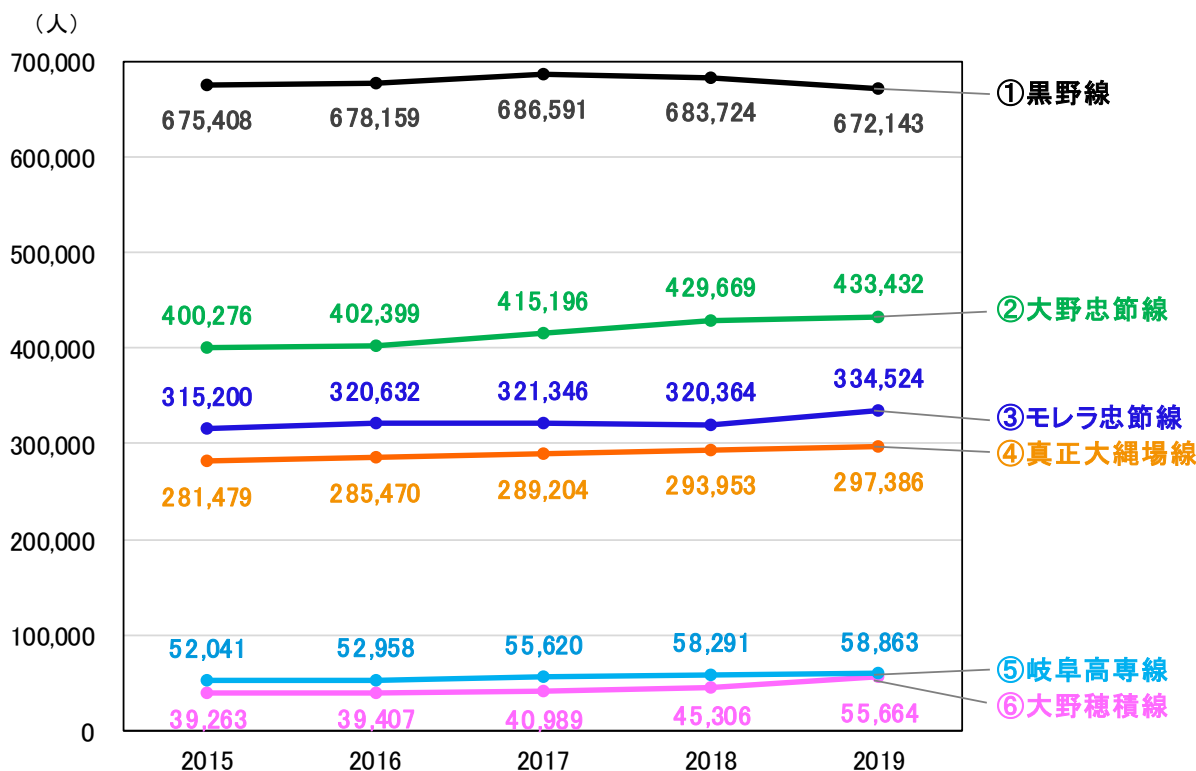
※現金・アユカ・定期については、系統別・停留所別利用者数を、通勤・通学内訳については、アユカデータを使用しているため、利用者数が一致しない場合がある。

## ②年間利用者数の推移

大野忠節線、モレラ忠節線、真正大野縄場線、岐阜高専線、大野穂積線の年間利用者数は2015年度（平成27年度）から増加傾向となっています。一方で黒野線は2017年度（平成29年度）をピークに減少傾向となっています。

大野穂積線は2015年度から2019年度までの増加率が他の路線と比較して最も高くなっています。

図表2-20 年間利用者数の推移



路線名		2015	2016	2017	2018	2019
岐阜バス	①黒野線	675,408 100	678,159 100	686,591 102	683,724 101	672,143 100
	②大野忠節線	400,276 100	402,399 101	415,196 104	429,669 107	433,432 108
	③モレラ忠節線	315,200 100	320,632 102	321,346 102	320,364 102	334,524 106
	④真正大縄場線	281,479 100	285,470 101	289,204 103	293,953 104	297,386 106
	⑤岐阜高専線	52,041 100	52,958 102	55,620 107	58,291 112	58,863 113
	⑥大野穂積線	39,263 100	39,407 100	40,989 104	45,306 115	55,664 142

上段：年間利用者数(人/年) 下段：H27を100とした指数

※路線バスデータは、補助年度である10月～9月で集計。

例) 2019年度＝2018年10月～2019年9月

(3) 本巣市市営バス（根尾地域）

1) 概要

本巣市合併前の根尾村において、園児・児童の通園・通学及び村民の日常の足を確保するため、1972年（昭和47年）5月より運行されています。

当初は有料での運行でしたが、2011年（平成23年）4月からは無料で運行しています。

図表2-21 市営バス（根尾地域）

路線名	根尾能郷線	根尾宇津志線	根尾松田・奥谷線
運行日	月～土曜日	月～土曜日	月～土曜日
運行本数	平日：10本/日 土曜日：4本/日	平日：10本/日 土曜日：4本/日	平日：10本/日 土曜日：4本/日
運行時間	平：6:45～17:39 土：7:38～13:02	平：7:05～17:07 土：7:59～12:38	平：6:51～17:27 土：7:46～12:49
所要時間	最大65分/周	最大31分/周	最大33分/周
停留所数	25箇所	20箇所	18箇所
運賃	無料		
備考	小中学生のスクールバスとしての役割も担う		

図表2-22 市営バス（根尾地域）路線図

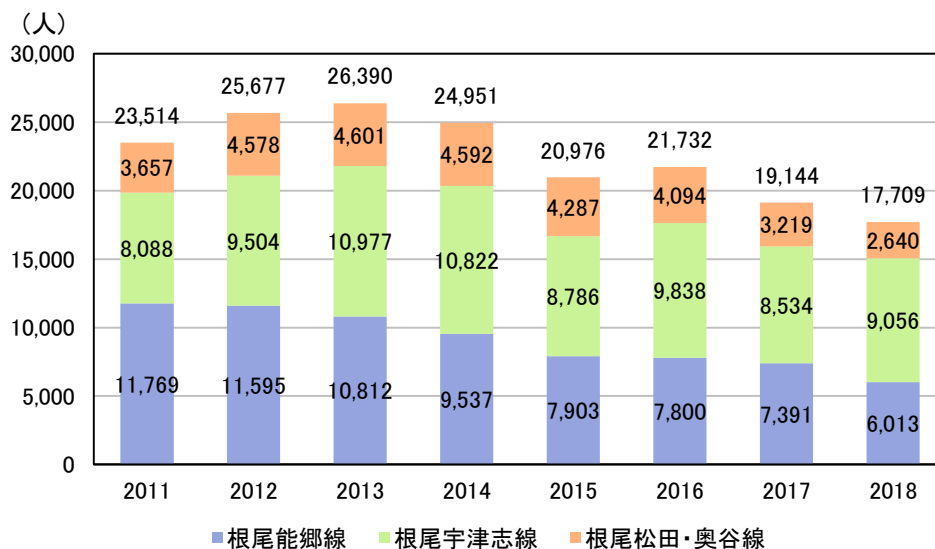


出典：岐阜県統合型GIS

## 2) 利用実態

2011年度（平成23年度）から2013年度（平成25年度）までは増加傾向にありましたが、2014年度（平成26年度）以降は減少傾向となっています。特に、根尾能郷線では、利用者が大きく減少しています。

図表2-23 市営バス利用者数（根尾地域）の推移



年度		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
年間利用者数 (単位:人)	根尾能郷線	11,769	11,595	10,812	9,537	7,903	7,800	7,391	6,013
	根尾宇津志線	8,088	9,504	10,977	10,822	8,786	9,838	8,534	9,056
	根尾松田・奥谷線	3,657	4,578	4,601	4,592	4,287	4,094	3,219	2,640
	計	23,514	25,677	26,390	24,951	20,976	21,732	19,144	17,709
1日あたり 利用者数 (単位:人/日)	根尾能郷線	40	40	37	33	27	27	25	21
	根尾宇津志線	27	32	37	37	30	34	29	31
	根尾松田・奥谷線	12	16	16	16	15	14	11	9
	計	80	88	90	86	71	74	65	61
1便あたり 利用者数 (単位:人/便)	根尾能郷線	9	9	8	7	6	6	6	5
	根尾宇津志線	6	7	8	8	7	7	7	7
	根尾松田・奥谷線	3	3	3	4	3	3	2	2
	計	18	19	20	19	16	17	15	13

図表2-24 小中学生 市営バス利用者数

年度		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
根尾能郷線	根尾小	11	10	8	5	4	4	6	5
	根尾中※	3	4	5	5	4	4	2	2
根尾宇津志線	根尾小	11	11	13	15	14	16	13	17
	根尾中	—	—	—	—	1	1	2	1
根尾松田・奥谷線	根尾小	3	3	5	5	5	4	3	2
	根尾中	—	—	—	—	1	2	1	1
合計		14	14	18	20	21	23	19	21

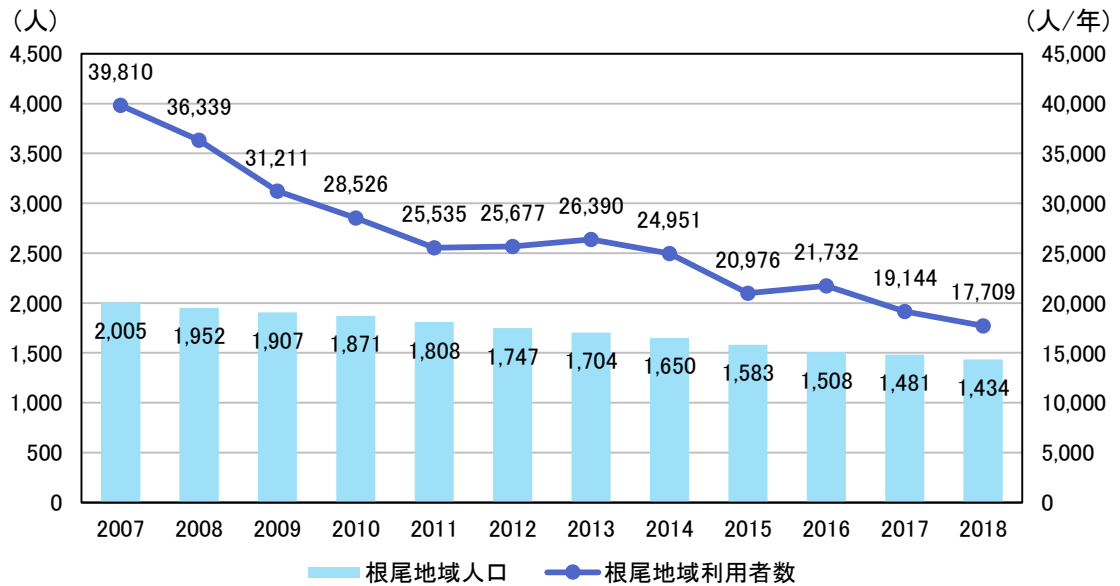
※根尾運能郷線には「根尾中」バス停が無いので「神所」バス停で算出  
根尾宇津志線、根尾松田・奥谷線については2015年4月に「根尾中」バス停新設  
(2014年以前は「根尾小」まで運行)



### 3) 地域の人口と市営バス利用者数（根尾地域）の推移

根尾地域の人口は、2007年（平成19年）以降減少し続けています。市営バスの利用者数も減少が続いていますが、人口減少率以上に急激に減少しています。

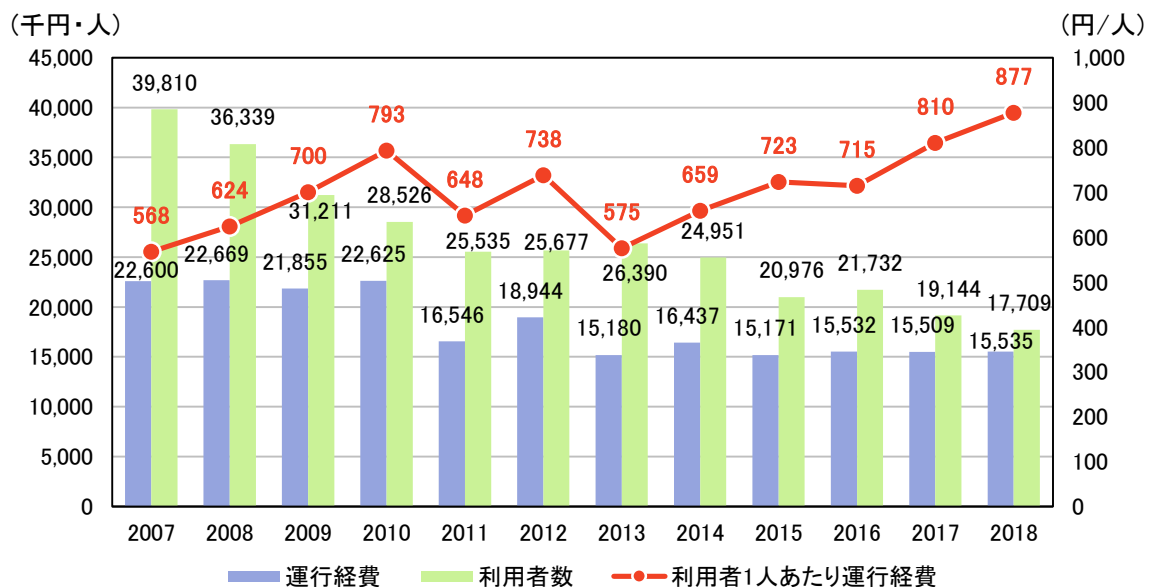
図表2-25 根尾地域の人口と市営バス利用者の推移



### 4) 市財政負担状況

2018年度（平成30年度）の運行経費は、約1,554万円（全路線合計）であり、利用者1人あたりの市財政負担額は約877円です。

図表2-26 運行経費の推移



#### (4) 本巢市市営バス（本巢・糸貫・真正地域）

##### 1) 概要

本巢北部線は、本巢北部地域住民の日常的な買い物や公共施設への移動を確保するため運行しています。本巢トンネル以南については、交通結節点を結ぶ循環型コミュニティバスとして、2004年（平成16年）10月1日より「もとバス」の運行が開始されました。

2010年（平成22年）6月からは、運賃を無料化し、運行しています。

これらのバスの運行形態は随時見直しが行われ、名称を本巢市市営バスに統一して2018年度（平成30年度）は下記のとおり運行されています。

図表2-27 市営バス（本巢・糸貫・真正地域）

路線名	本巢北部線	循環路線		
		本巢・糸貫線	真桑線	弾正線
運行日	月・水・金曜日	火・木・土曜日	火・木・土曜日	火・木・土曜日
運行本数	5本/日	6本/日	6本/日	6本/日
運行時間	8:25～17:00	8:15～17:46	9:30～16:34	8:30～17:30
所要時間	80分/周	56分/周	39分/周	45分/周
停留所数	30箇所	31箇所	14箇所	22箇所
運賃	無料			
主なカバーエリア	本巢, 外山	文殊, 長屋, 上高屋, 見延, 有里, 数屋, 随原, 上保, 三橋	石原, 天神, 仏生寺, 宗慶, 上真桑	本郷, 中野, 小弾正, 浅木, 政田, 下真桑
交通結節点	本巢市役所, 本巢駅	モレラ岐阜, 本巢市役所, 本巢駅	モレラ岐阜, 北方真桑駅, 北方バスターミナル	モレラ岐阜, イオンタウン前

本巢北部線



循環路線





図表2-28 市営バス（本巢・糸貫・真正地域） 路線図



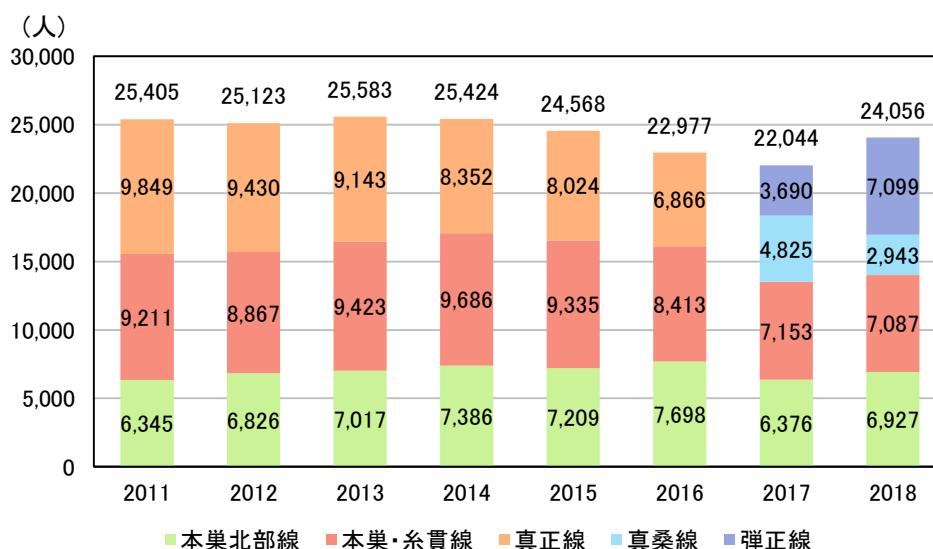
出典：岐阜県統合型GIS

## 2) 利用実態

2011年度（平成23年度）から2014年度（平成26年度）までは、約25,000人で推移していましたが、2015年度（平成27年度）以降はLCワールド本巢の閉館もあり、減少傾向にありました。

2017年（平成29年）9月に、本巢・糸貫・真正地域を運行する2路線を3路線に分割する大規模な路線再編を行った結果、2018年度（平成30年度）の利用者数は前年度よりも増加し、24,056人となりました。

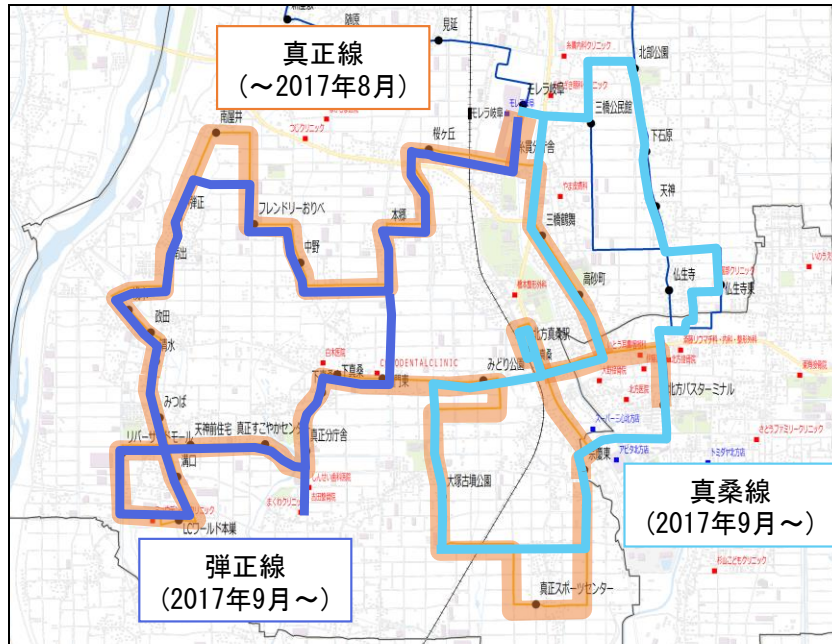
図表2-29 市営バス利用者数（本巢・糸貫・真正地域）の推移



※2017年9月に路線再編を実施

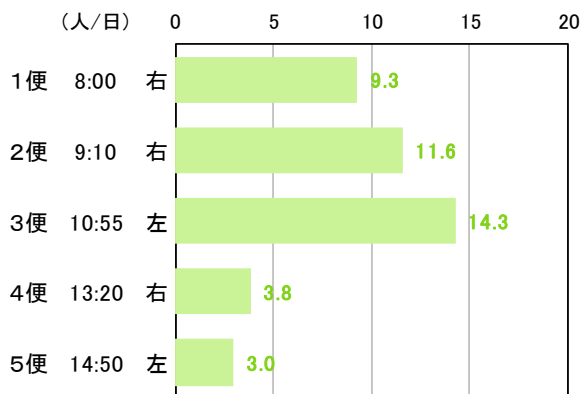
年度		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
年間利用者数 (単位:人)	本巢北部線	6,345	6,826	7,017	7,386	7,209	7,698	6,376	6,927
	本巢・糸貫線	9,211	8,867	9,423	9,686	9,335	8,413	7,153	7,087
	真正線	9,849	9,430	9,143	8,352	8,024	6,866	—	—
	真桑線	—	—	—	—	—	—	4,825	2,943
	弾正線	—	—	—	—	—	—	3,690	7,099
	計	25,405	25,123	25,583	25,424	24,568	22,977	22,044	24,056
1日あたり 利用者数 (単位:人/日)	本巢北部線	44.1	47.4	48.4	50.9	50.1	52.7	43.7	45.0
	本巢・糸貫線	62.7	59.5	62.4	65.4	62.2	57.2	47.7	46.3
	真正線	67.0	63.3	60.5	56.4	53.5	46.7	—	—
	真桑線	—	—	—	—	—	—	32.2	19.2
	弾正線	—	—	—	—	—	—	42.9	46.4
1便あたり 利用者数 (単位:人/便)	本巢北部線	8.8	9.5	9.7	10.2	10.0	10.5	8.7	9.0
	本巢・糸貫線	9.0	8.5	8.9	9.3	8.9	8.2	7.4	7.7
	真正線	11.2	10.5	10.1	9.4	8.9	7.8	—	—
	真桑線	—	—	—	—	—	—	5.4	3.2
	弾正線	—	—	—	—	—	—	7.2	7.7

図表2-30 2017年(平成29年)9月再編の概要図



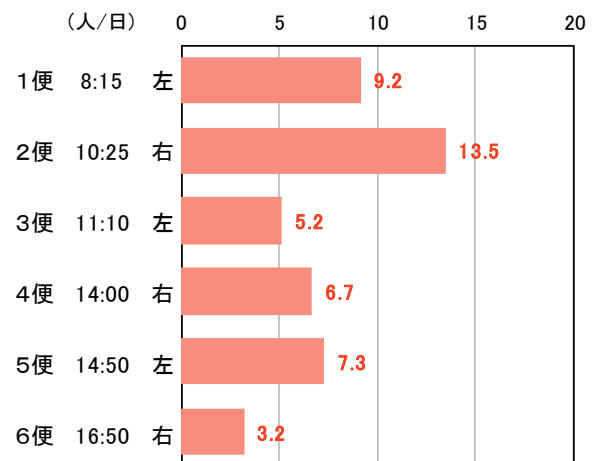
図表2-31 市営バス便別利用者数 (本巢・糸貫・真正地域)

本巢北部線

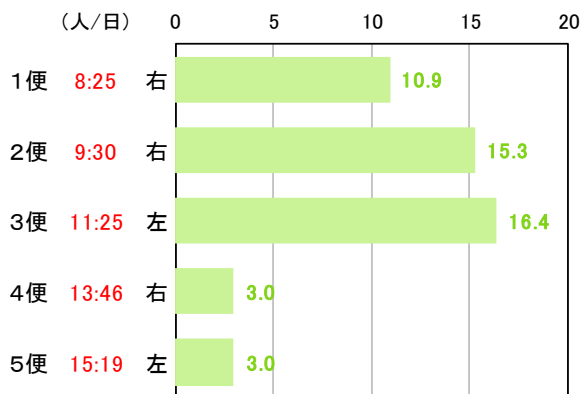


(2018年4月~2018年9月)

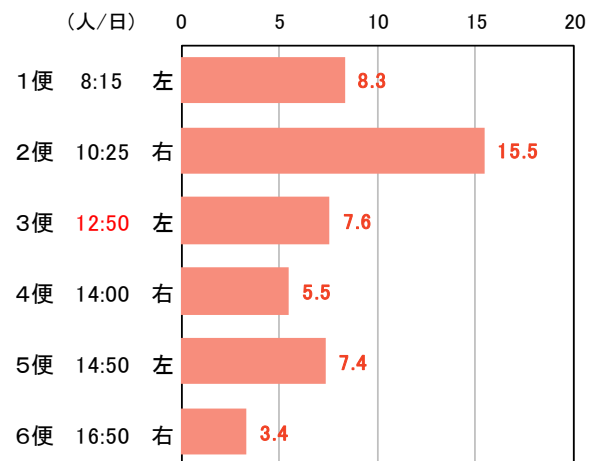
本巢・糸貫線



(2018年4月~2018年9月)

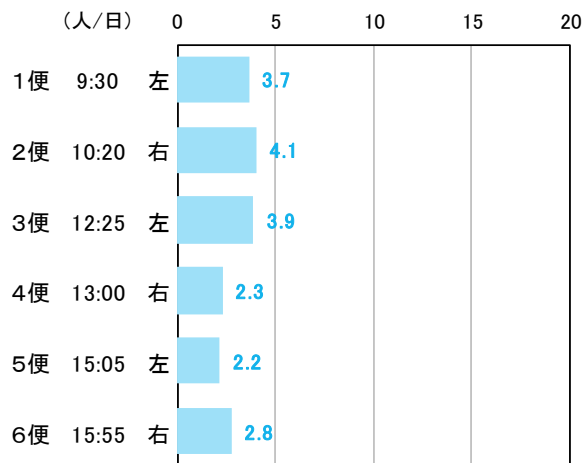


(2018年10月~2019年3月)



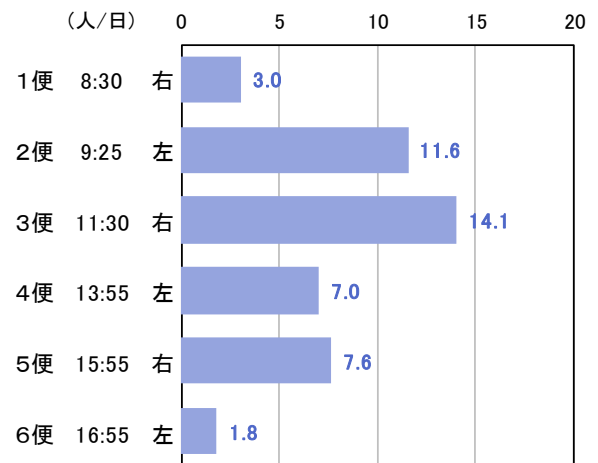
(2018年10月~2019年3月)

真桑線

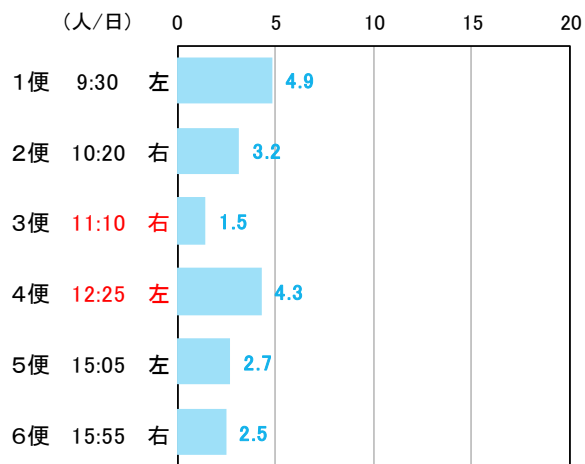


(2018年4月～2018年9月)

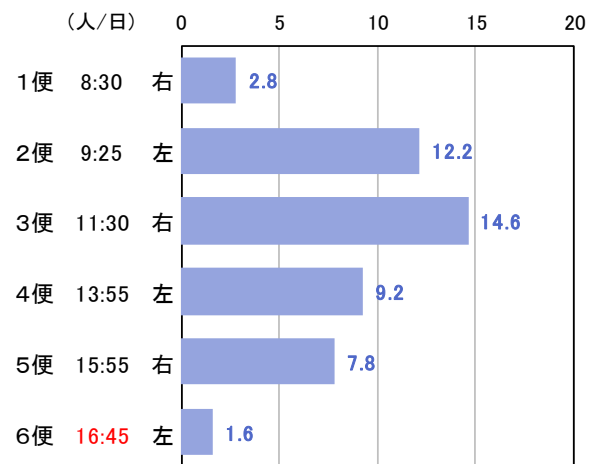
弾正線



(2018年4月～2018年9月)



(2018年10月～2019年3月)



(2018年10月～2019年3月)

図表2-32 市営バス停留所別乗降者数（本巢・糸貫・真正地域，2018年度）

## 本巢北部線

	乗車	降車	合計	構成比 (%)
本巢市役所	237	317	554	4.0
トミダヤ	2,182	1,725	3,907	28.2
本巢駅	26	404	430	3.1
JAもとす支店	1	5	6	0.0
織部の里もとす	29	30	59	0.4
木知原駅	48	54	102	0.7
木知原集荷場	2	4	6	0.0
長谷極又口	166	166	332	2.4
長谷竹浦口	4	5	9	0.1
川内公民館	29	25	54	0.4
木倉公民館	29	33	62	0.4
木倉金坂口	4	5	9	0.1
日当公民館	255	277	532	3.8
上金原	157	185	342	2.5
金原公民館	175	158	333	2.4
下金原	71	56	127	0.9
鍋原公民館	186	155	341	2.5
根尾川ガーデン	1,134	1,061	2,195	15.8
佐原公民館	74	93	167	1.2
神海上新田	2	3	5	0.0
神海駅	16	19	35	0.3
本巢診療所	297	283	580	4.2
外山郵便局	388	404	792	5.7
林製材所	96	118	214	1.5
山口公民館	81	73	154	1.1
山口集荷場	38	31	69	0.5
向道集落センター	194	177	371	2.7
本巢郵便局	5	64	69	0.5
本巢福祉センター	65	75	140	1.0
パロー本巢文殊店	942	916	1,858	13.4
合計	6,933	6,921	13,854	100.0

## 本巢・糸貫線

	乗車	降車	合計	構成比 (%)
モレラ岐阜	2,574	2,544	5,118	36.1
ぬくもりの里	20	18	38	0.3
上保本郷	7	10	17	0.1
富有柿の里	86	75	161	1.1
本巢市役所	93	134	227	1.6
宝珠	51	81	132	0.9
宝珠ハイツ口	153	190	343	2.4
宝珠ハイツ公園	756	954	1,710	12.1
宝珠ハイツ	423	433	856	6.0
徳山団地	652	658	1,310	9.2
上新町	18	25	43	0.3
総合運動場	8	12	20	0.1
文殊団地	0	1	1	0.0
パロー本巢文殊店	477	238	715	5.0
西之門	89	114	203	1.4
本巢小学校	98	88	186	1.3
J A本巢支店	11	43	54	0.4
本巢駅	52	65	117	0.8
トミダヤ	668	672	1,340	9.5
本巢福祉センター	35	36	71	0.5
市民スポーツプラザ	8	14	22	0.2
長屋神社前	270	170	440	3.1
上高屋	4	5	9	0.1
下高屋	48	41	89	0.6
有里	58	16	74	0.5
数屋	88	87	175	1.2
新屋敷	28	99	127	0.9
更屋敷公民館	10	18	28	0.2
なかしま医院	161	97	258	1.8
随原	118	97	215	1.5
見延	25	50	75	0.5
合計	7,089	7,085	14,174	100.0

## 真桑線

	乗車	降車	合計	構成比 (%)
モレラ岐阜	1,293	1,458	2,751	46.7
糸貫分庁舎	84	127	211	3.6
みどり公園	19	17	36	0.6
大塚古墳公園	59	88	147	2.5
宗慶東	153	171	324	5.5
北方真桑駅	221	231	452	7.7
北方バスターミナル	788	598	1,386	23.5
高砂町	190	198	388	6.6
仏生寺	5	33	38	0.6
堀部クリニック	37	30	67	1.1
天神	36	7	43	0.7
下石原	4	0	4	0.1
北部公園	3	0	3	0.1
糸貫内科クリニック	22	14	36	0.6
合計	2,914	2,972	5,886	100.0

## 弾正線

	乗車	降車	合計	構成比 (%)
モレラ岐阜	2,683	2,434	5,117	36.0
糸貫分庁舎	230	557	787	5.5
桜ヶ丘	7	13	20	0.1
本郷	142	147	289	2.0
中野	522	517	1,039	7.3
フレンドリーおりべ	97	44	141	1.0
小弾正	297	304	601	4.2
南出	367	455	822	5.8
浅木	40	60	100	0.7
政田	132	144	276	1.9
清水	330	269	599	4.2
みつば	511	444	955	6.7
イオンタウン本巢	383	421	804	5.7
LCワールド本巢	209	213	422	3.0
溝口	176	105	281	2.0
天神前住宅	62	50	112	0.8
真正すこやかセンタ	50	72	122	0.9
まくわクリニック	182	156	338	2.4
真正分庁舎	232	215	447	3.1
下真桑南	59	33	92	0.6
下真桑	396	397	793	5.6
大門東	20	21	41	0.3
合計	7,127	7,071	14,198	100.0



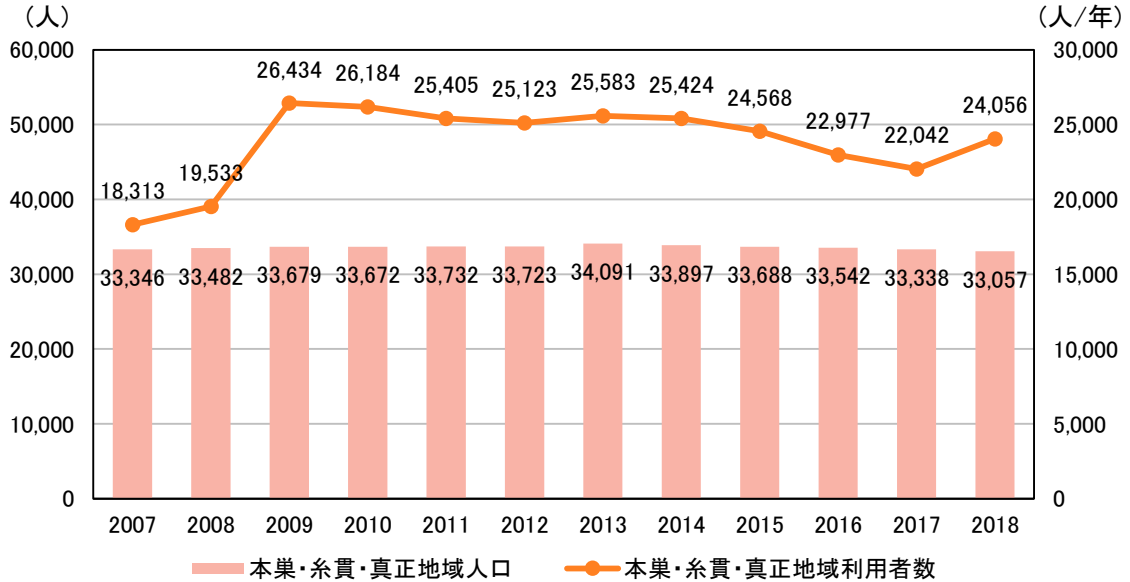
図表2-33 市営バス停留所別乗降者数の変化（2016年・2018年比較）

バス停名	2016年度	2018年度	差	バス停名	2016年度	2018年度	差
本巢市役所	928	781	-147	下高屋	88	89	1
トミダヤ	7,378	5,247	-2,131	有里	109	74	-35
本巢駅	660	547	-113	数屋	215	175	-40
JAもとす支店	149	60	-89	新屋敷	177	127	-50
織部の里もとす	105	59	-46	更屋敷公民館	—	28	28
木知原駅	94	102	8	なかしま医院	—	258	258
木知原集荷場	13	6	-7	随原	96	215	119
長谷極又口	263	332	69	見延	80	75	-5
長谷竹浦口	20	9	-11	南屋井	21	—	-21
川内公民館	265	54	-211	高砂町	456	388	-68
木倉公民館	120	62	-58	北方真桑駅	467	452	-15
木倉金坂口	36	9	-27	みどり公園	32	36	4
日当公民館	455	532	77	大塚古墳公園	204	147	-57
上金原	230	342	112	宗慶東	388	324	-64
金原公民館	349	333	-16	北方バスターミナル	1,366	1,386	20
下金原	677	127	-550	仏生寺	115	38	-77
鍋原公民館	389	341	-48	仏生寺東	196	—	-196
根尾川ガーデン	2,508	2,195	-313	堀部クリニック	—	67	67
佐原公民館	227	167	-60	天神	58	43	-15
神海上新田	33	5	-28	下石原	5	4	-1
神海駅	—	35	35	北部公園	1	3	2
本巢診療所	1,052	580	-472	糸貫内科クリニック	—	36	36
外山郵便局	1,013	792	-221	糸貫分庁舎	910	998	88
林製材所	218	214	-4	三橋公民館	4	—	-4
山口公民館	120	154	34	三橋鶴舞	13	—	-13
山口集荷場	162	69	-93	桜ヶ丘	6	20	14
向道集落センター	222	371	149	本郷	230	289	59
本巢郵便局	—	69	69	中野	521	1,039	518
パロー本巢文殊店	1,146	715	-431	フレンドリーおりべ	11	141	130
本巢福祉センター	279	211	-68	小弾正	347	601	254
モレラ岐阜	8,936	12,986	4,050	南出	490	822	332
ぬくもりの里	—	38	38	浅木	357	100	-257
上保本郷	6	17	11	政田	128	276	148
富有柿の里	327	161	-166	清水	408	599	191
宝珠	246	132	-114	みつば	882	955	73
宝珠ハイツ口	361	343	-18	イオンタウン本巢	—	804	804
宝珠ハイツ公園	1,884	1,710	-174	LCワールド本巢	218	422	204
宝珠ハイツ	1,476	856	-620	溝口	686	281	-405
徳山団地	1,768	1,310	-458	天神前住宅	220	112	-108
上新町	34	43	9	真正すこやかセンター	197	122	-75
総合運動場	1	20	19	まくわクリニック	—	338	338
文殊団地	14	1	-13	真正分庁舎	471	447	-24
西之門	125	203	78	下真桑	832	793	-39
本巢小学校	2	186	184	大門東	23	41	18
市民スポーツプラザ	28	22	-6	リバーサイドモールシ	103	—	-103
長屋神社前	396	440	44	下真桑南	61	92	31
上高屋	16	9	-7	真正スポーツセンター	31	—	-31
合計				合計	45,954	46,254	300

### 3) 地域の人口と市営バス利用者数（本巢・糸貫・真正地域）の推移

本巢・糸貫・真正地域の人口は、2013年（平成25年）をピークに減少傾向にあります。市営バスの利用者数は2009年度（平成21年度）に大幅に増加し、以降運賃無料化等により、25,000人程度で推移していました。

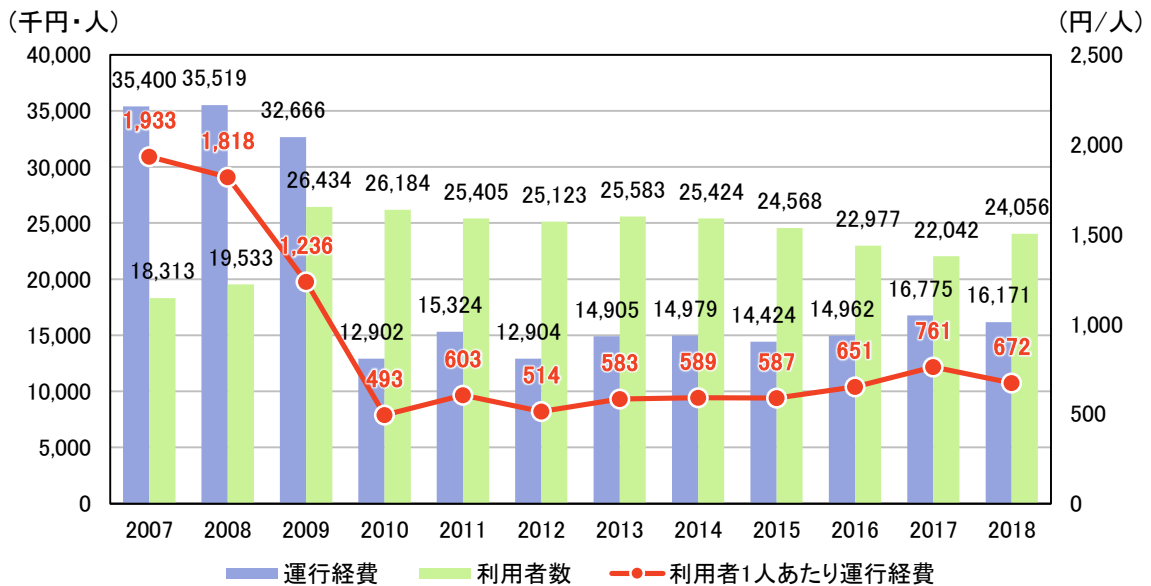
図表2-34 本巢・糸貫・真正地域の人口と市営バス利用者の推移



### 4) 市財政負担状況

2018年度（平成30年度）の運行経費は、約1,617万円（全路線合計）であり、利用者1人あたりの市財政負担額は約672円です。

図表2-35 運行経費の推移



※2010年6月より無償運送に変更。経費削減のため隔日運行に変更。

## (5) 関連事業

### 1) 高齢者タクシー利用助成事業

#### ①対象者

- ・市内在住の75歳以上の高齢者で、運転免許を持っていない方
- ・ただし、次の場合は交付対象外
  - >同一世帯内に、75歳以上で運転免許を持っている者がいる場合
  - >同一年度内に本巢市重度障がい者タクシー利用助成事業による助成を受けている場合
  - >社会福祉施設等に入所している場合
  - >病院に入院している場合
  - >本巢市高齢者タクシー利用助成事業実施要綱及び本巢市重度障がい者タクシー利用助成事業実施要綱の規定により、乗車券の返還を求められたことがある場合

#### ②助成内容

- ・1回700円の乗車券を1ヵ月2枚、年度末（3月末）までの分（最大24枚）を交付

図表2-36 高齢者タクシー利用助成の申請人数

		2017年度	2018年度	2019年度
根尾地域	申請者(人)	43	42	78
	高齢人口(人)	446	441	440
	割合(%)	9.6	9.5	17.7
本巢地域	申請者(人)	16	25	38
	高齢人口(人)	1,243	1,278	1,298
	割合(%)	1.3	2.0	2.9
糸貫地域	申請者(人)	32	34	79
	高齢人口(人)	1,571	1,622	1,648
	割合(%)	2.0	2.1	4.8
真正地域	申請者(人)	33	47	114
	高齢人口(人)	1,510	1,595	1,605
	割合(%)	2.2	2.9	7.1
合 計	申請者(人)	124	148	309
	高齢人口(人)	4,770	4,936	4,991
	割合(%)	2.6	3.0	6.2

※高齢人口：75歳以上

※2019年度は見込値



## 2) 運転免許証自主返納高齢者支援事業

## ①対象者

- ・市内在住の75歳以上の高齢者で、運転免許証を自主返納した方
- ・ただし、免許取り消しとなった方は交付対象外

## ②助成内容

- ・樽見鉄道の乗車券（片道全区間有効）を申請月から年度末までの月4枚（年最大48枚）交付

図表2-37 運転免許証自主返納高齢者支援の申請人数

		2017年度	2018年度	2019年度
根尾地域	申請者数(人)	1	4	7
	高齢人口(人)	446	441	440
	割合(%)	0.2	0.9	1.6
本巣地域	申請者数(人)	3	9	12
	高齢人口(人)	1,243	1,278	1,298
	割合(%)	0.2	0.7	0.9
糸貫地域	申請者数(人)	5	10	11
	高齢人口(人)	1,571	1,622	1,648
	割合(%)	0.3	0.6	0.7
真正地域	申請者数(人)	4	12	20
	高齢人口(人)	1,510	1,595	1,605
	割合(%)	0.3	0.8	1.2
合 計	申請者数(人)	13	35	50
	高齢人口(人)	4,770	4,936	4,991
	割合(%)	0.3	0.7	1.0

※高齢人口：75歳以上

※2019年度は見込値

## 第3章 利用者及び市民ニーズ

### (1) 市営バス利用者アンケート調査

#### 1) 調査概要

##### ①目的

- ・現在の本巢市市営バスの利用実態や運行サービスの改善要望等を把握する。

##### ②対象者

- ・本巢市市営バス利用者（本巢北部線，本巢・糸貫線，真桑線，弾正線）

##### ③方法

- ・バス内の各座席にアンケート用紙を設置し、アンケート記入を依頼。
- ・記入後はバス運転手に提出。（運行委託業者に依頼）

##### ④期間・回答者数

路線	調査日	回答者数
本巢北部線	2019年 3月 4日(月)， 6日(水)， 8日(金) 3月11日(月)， 13日(水)， 15日(金)	48人
本巢・糸貫線	2019年 3月 5日(火)， 7日(木)， 9日(土) 3月12日(火)， 14日(木)， 16日(土)	59人
真桑線		43人
弾正線		57人

##### ⑤調査項目

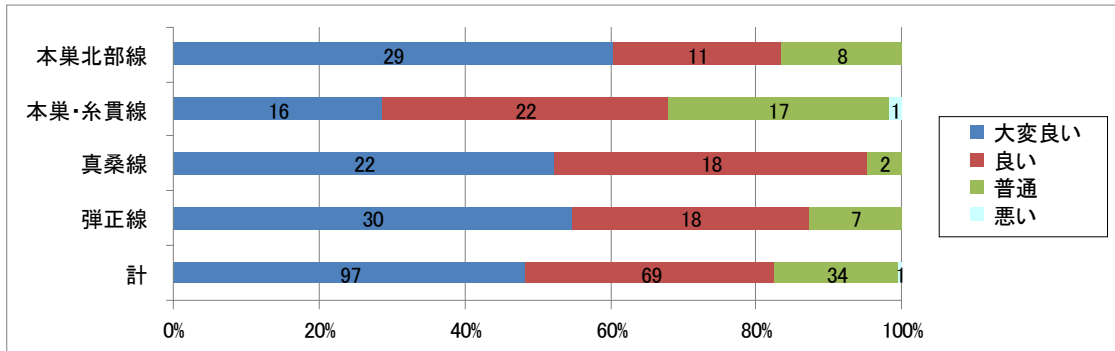
- ・利用者属性（性別，年齢，居住地，職業，世帯構成，運転免許保有）
- ・市営バスの満足度
- ・利用状況（乗降バス停，利用目的，利用頻度，利用時間帯，乗継利用）
- ・現在の運行体系について（運行日，ルート，便数，料金，その他）

## 2) 調査結果

### ①満足度

- ・「大変良い」「良い」が全体の8割以上を占めました。
- ・本巢・糸貫線で一部「悪い」と回答された方は、ある特定の行先（もんじゅ歯科）にバス停がないことからこの項目を選んでいます。

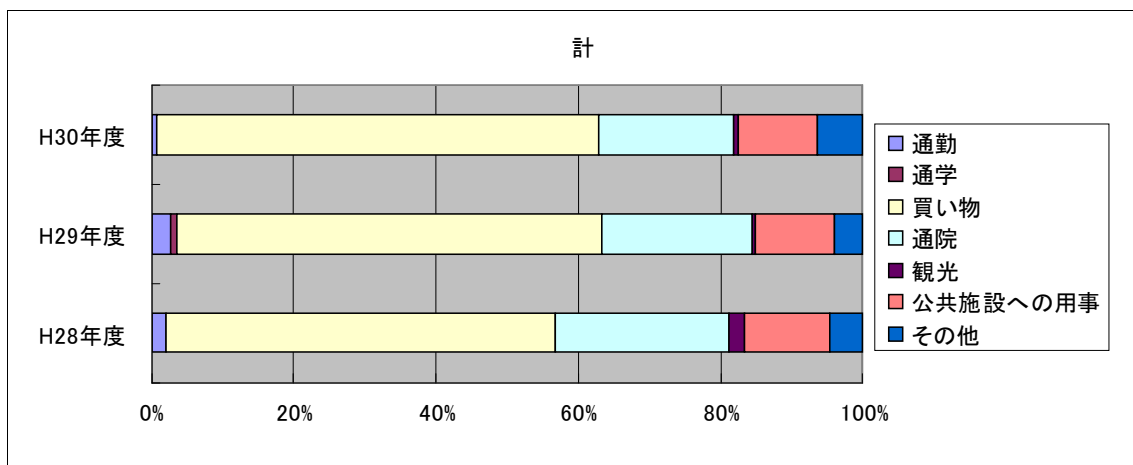
図表3-1 満足度



### ②利用目的

- ・買い物目的が最も高く、次いで通院、公共施設への用事が高くなっています。

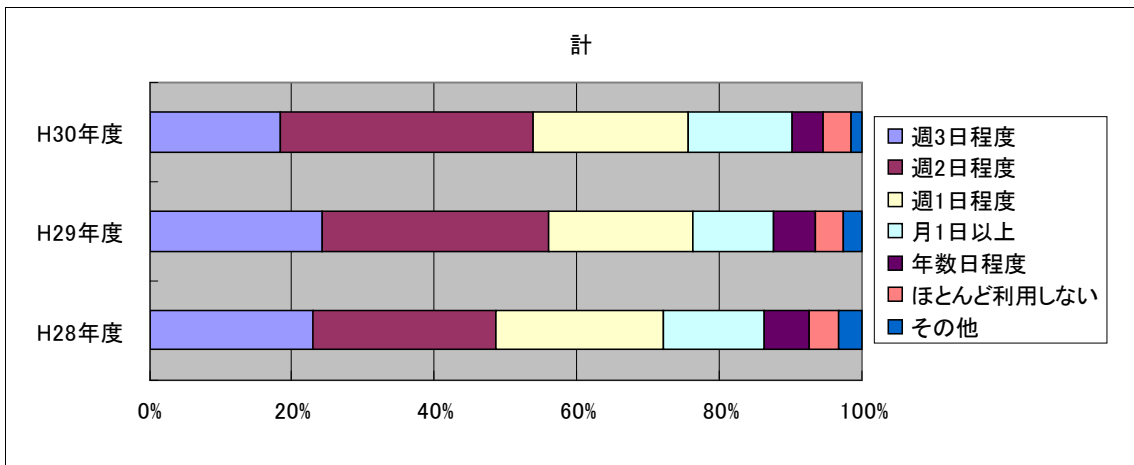
図表3-2 利用目的



### ③利用頻度

- ・週1日以上利用する割合が70%以上を占めています。

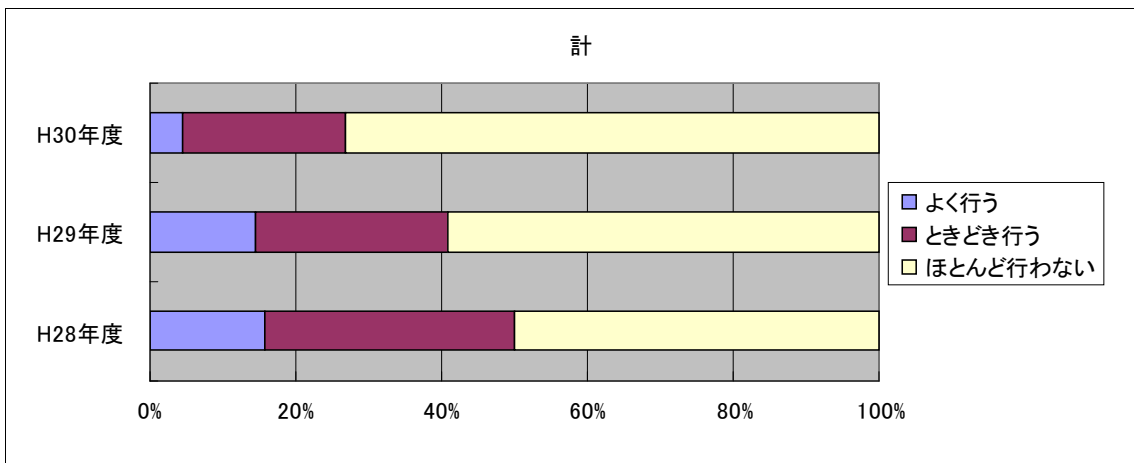
図表3-3 利用頻度



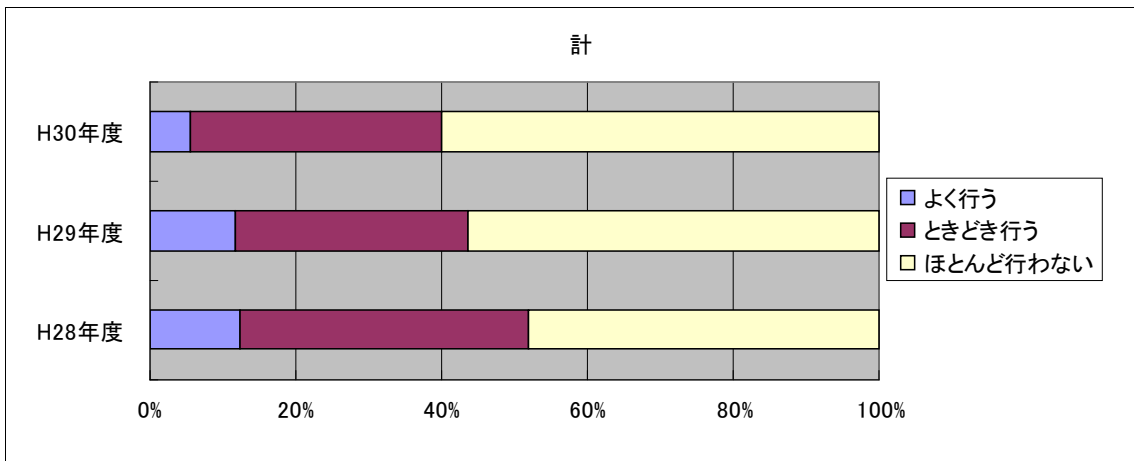
### ④乗り継ぎ状況

- ・市営バスから市営バスへの乗継を行う方は減少しつつあります。
- ・他の交通機関との乗り継ぎを行う方が全体の4割以上あります。

図表3-4 市営バスへの乗り継ぎ状況



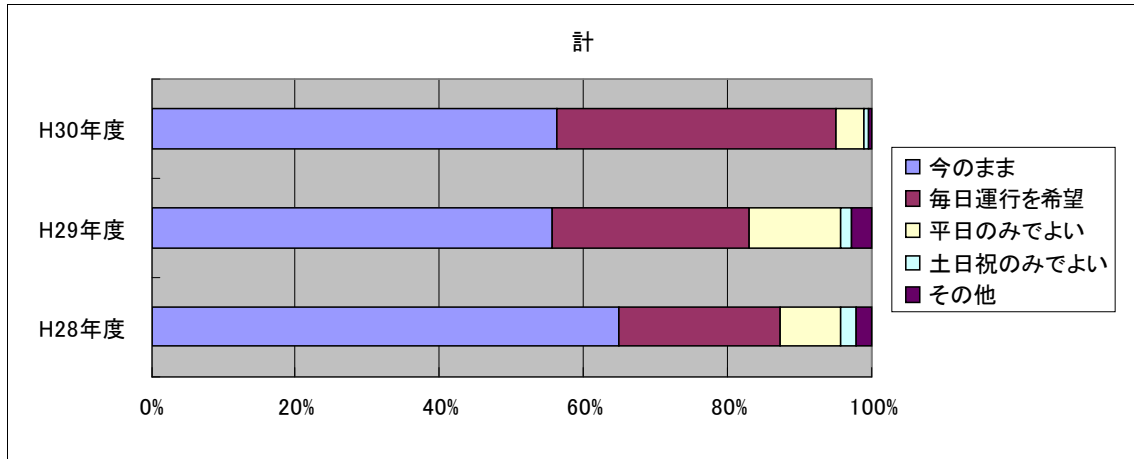
図表3-5 他の交通機関への乗り継ぎ



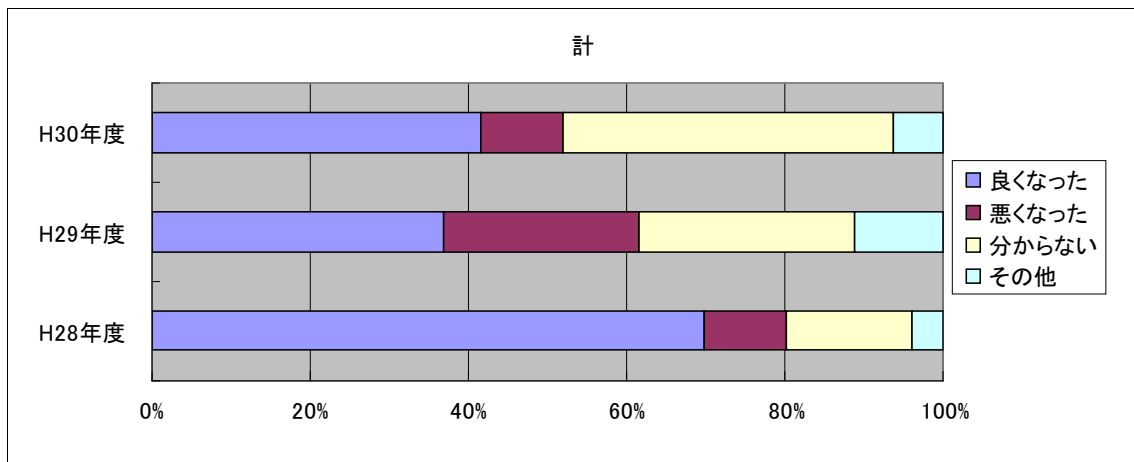
⑤サービスの内容（運行日，ルート，便数）

- ・運行日については、「今のままでよい」が最も多いですが、3割以上の利用者が「毎日の運行」を望んでいます。
- ・再編後のルートについては、「良くなった」が全体の4割となっています。
- ・便数については、「今のままでよい」が6割となっています。

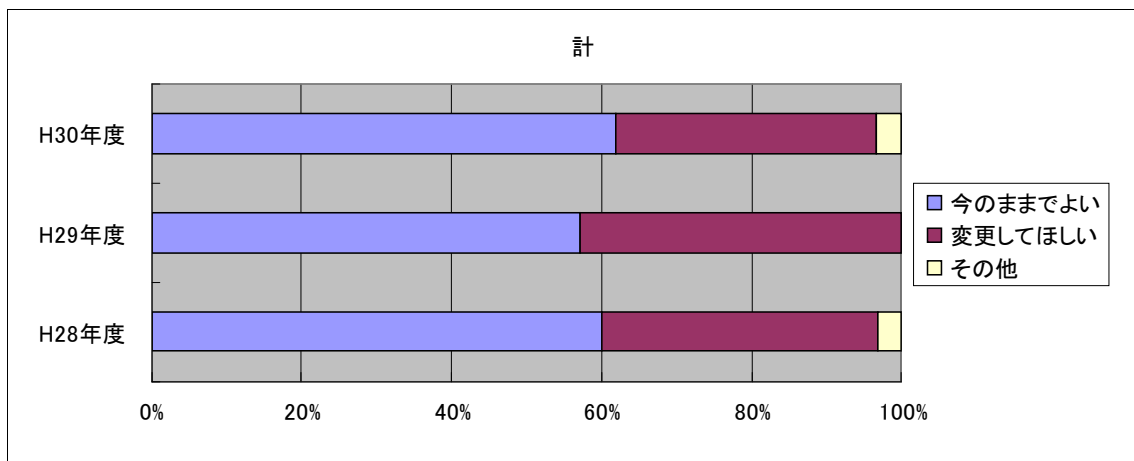
図表3-6 運行日について



図表3-7 再編後のルートについて



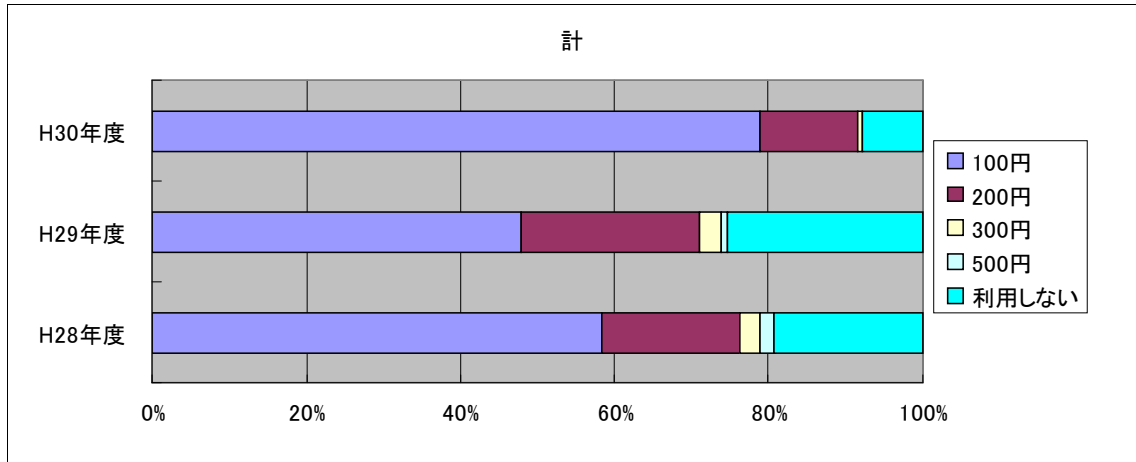
図表3-8 便数について



⑥有料化した場合の利用意向・支払っても良い運賃

- ・「利用しない」割合は、前年度比べて低下し、1割未満でした。
- ・支払っても良い運賃としては、100円の割合が高くなっています。

図表3-9 有料化した場合の利用意向・支払っても良い運賃



## (2) 市民アンケート調査

### 1) 調査概要

#### ①目的

- ・日常生活における公共交通の利用状況や問題点、公共交通及び交通結節点に関する改善要望等を把握する。

#### ②対象者

- ・本巢市内居住者（発送先は世帯で抽出。宛名は世帯主）
- ・根尾地域200件，本巢地域400件，糸貫地域650件，真正地域750件

#### ③方法

- ・郵送配布、郵送回収

#### ④回収数

- ・回収数：909票（回収率：45%）

図表3-10 地域年齢別回収数

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 以上	無回答	計
根尾地域	1	0	1	2	11	22	24	17	1	79
本巢地域	1	1	10	19	22	56	51	29	2	191
糸貫地域	0	6	14	30	37	81	98	37	2	305
真正地域	0	8	22	52	66	64	69	44	2	327
無回答	0	0	0	0	0	0	4	0	3	7
計	2	15	47	103	136	223	246	127	10	909

#### ⑤調査項目

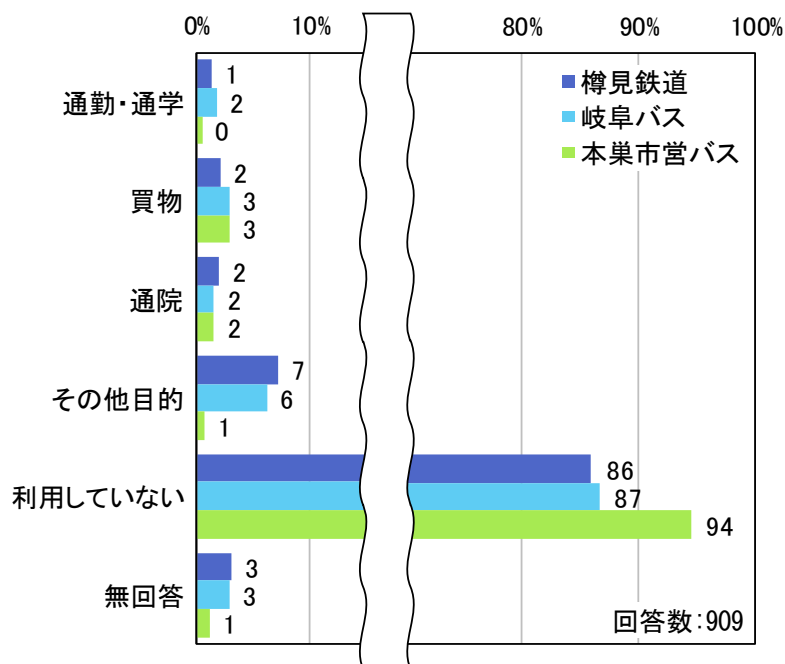
- ・属性（性別，年齢，居住地，職業，免許保有状況，免許自主返納，送迎者の有無，外出時の困難）
- ・樽見鉄道の利用状況，利用しない理由，増便の認知度，増便に対するご意見
- ・岐阜バスの利用状況，利用しない理由，増便の認知度，増便に対するご意見
- ・本巢市営バスの利用状況，利用しない理由，行きたい施設
- ・現在の交通体系に関する評価，必要な取り組み
- ・公共交通に対する市の費用負担について
- ・本巢市営バスの有料化，有料化した場合の運賃設定について
- ・交通拠点の整備について

## 2) 調査結果

### ①公共交通の利用状況

- ・自動車の運転免許を保有している人が多いため、公共交通を月に1回以上利用している人はわずかであり、80%以上が利用していないと回答しています。
- ・市営バスは、運行時間帯が限定的であるため、主に買い物や通院に利用されています。

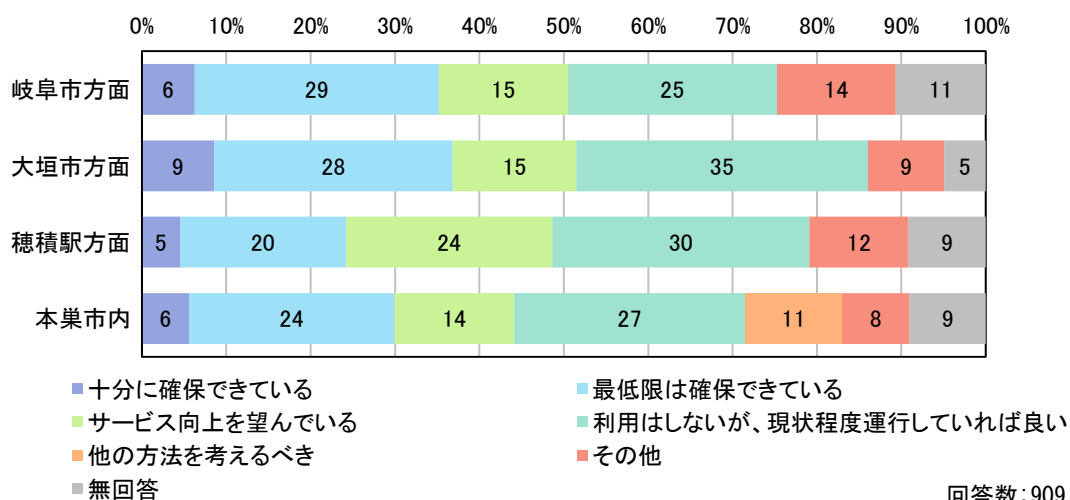
図表3-11 公共交通の利用状況



### ②現在の公共交通の評価

- ・現在の公共交通サービスに納得している人（十分に確保できている＋最低限は確保できている＋利用しないが、現状程度運行していればよい）は、岐阜市方面及び大垣市方面では60%以上、穂積駅方面及び本巣市内で50%以上であり、一定の評価を得ています。
- ・穂積駅方面では、他の方面に比べて「サービス向上を望んでいる」割合が高くなっています。

図表3-12 方面別公共交通の評価

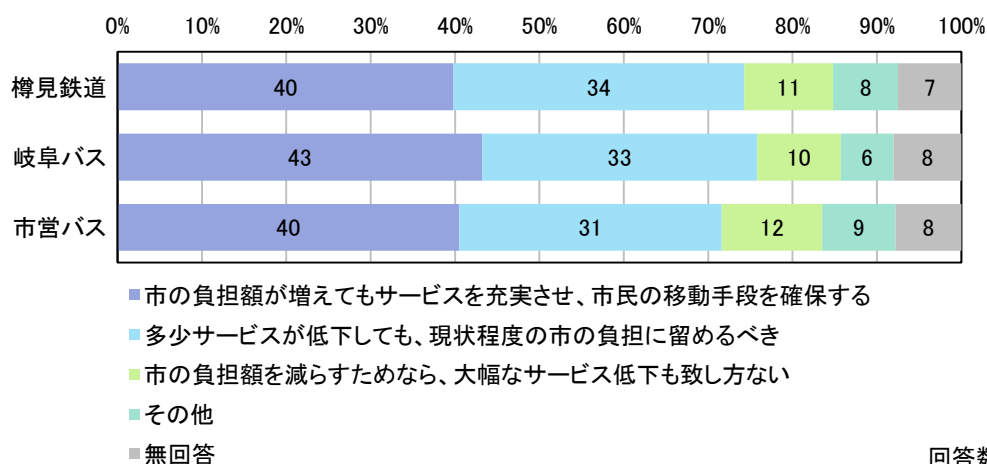




### ③公共交通に対する費用負担の考え

- ・樽見鉄道、岐阜バス、市営バスとも、「市の負担額が増えてもサービスを充実させ、市民の移動手段を確保する」が40%、「多少サービスが低下しても、現状程度の市の負担に留めるべき」が30%程度となっており、市が公共交通の確保のために負担を行うことに対して、肯定的な意見が多くなっています。

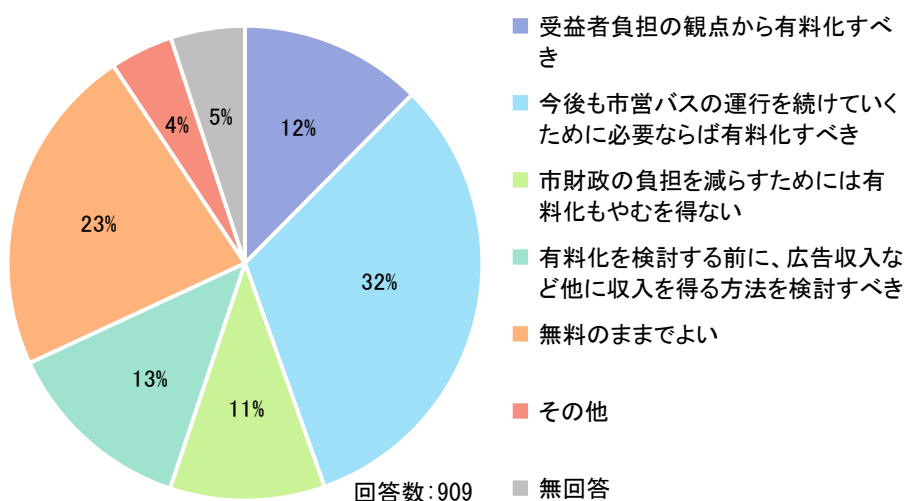
図表3-13 公共交通に対する費用負担の考え



### ④市営バスの運賃について

- ・「今後も市営バスの運行を続けていくために必要ならば有料化すべき」が32%で最も高く、次いで「無料のままでよい」が23%となっています。
- ・有料化を容認する意見が50%以上を占めています。

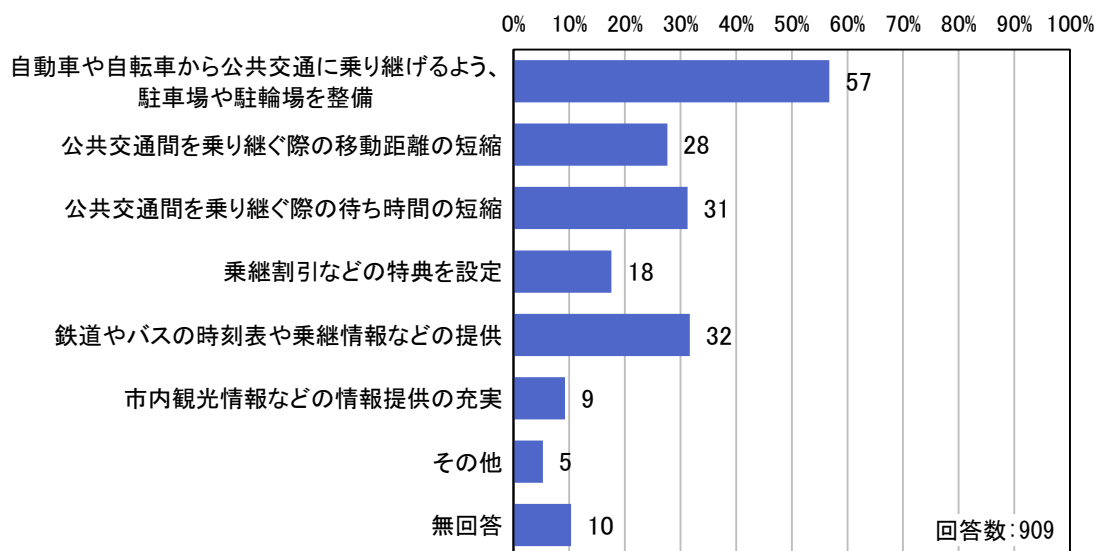
図表3-14 市営バスの運賃について



### ⑤交通拠点の整備

- ・モレラ岐阜駅周辺の交通拠点と位置付けた場合に、充実させていくべき機能としては、「自動車や自転車から公共交通に乗り継げるよう、駐車場や駐輪場を整備」の割合が最も高くなっています。これは、自動車運転免許保有者の回答が多いためと考えられます。

図表3-15 交通拠点の整備



## (3) ワークショップ

## 1) 実施目的

地域住民や交通事業者等の関係者が、一緒に市内の公共交通をより良くするために必要なことを検討しました。

## 2) 開催日時・場所・参加者数

日時	場所	参加者数
2019年12月13日(金) 19:00～20:30	糸貫ぬくもりの里 いきいきホール	13名
2019年12月14日(土) 13:30～15:00	糸貫ぬくもりの里 いきいきホール	14名
2019年12月21日(土) 10:00～11:30	根尾文化センター 大会議室	16名

図表3-16 ワークショップの様子



### 3) 結果

#### ①樽見鉄道

利用実態	<ul style="list-style-type: none"><li>・根尾から名古屋に行くときは、十九条か横屋で降りてみずほバスに乗り換え、穂積駅へ行く人もいる。</li><li>・根尾から本巣駅近くの本巣内科クリニックへ行く際に利用している。</li><li>・根尾から本巣市内に行く場合、モレラ岐阜駅で降りて、市営バスに乗り換える人がいる。</li><li>・根尾から岐阜方面に行く場合、モレラ岐阜駅で降りて、岐阜バスに乗り換える。</li></ul>
問題点・改善要望	<p><b>【運行本数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・朝は良いが、帰りは本数が少ない。</li><li>・土曜日・日曜日の本数を多くしてほしい。</li></ul> <p><b>【運行時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・金曜日、土曜日だけでも樽見まで遅い便を運行してほしい。</li></ul> <p><b>【駅施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・糸貫駅に駐車場がない。</li></ul> <p><b>【運賃】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・モレラ岐阜駅で降車後、岐阜バスに乗り換えて岐阜方面に行くと、運賃が1,000円と高い。</li></ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在のサービスを維持してほしい。</li><li>・シルバーパスの認知度が低い。</li><li>・月1プレミアムフライデーを交通でも特別な日にしてほしい。交通事業者と飲食店がコラボしてイベントをしたらどうか。</li></ul>

#### ②岐阜バス

利用実態	<ul style="list-style-type: none"><li>・高校生の8割以上が市外へ通学しているが、送迎が多く、バス利用は少ない。</li></ul>
問題点・改善要望	<p><b>【運行本数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本数が少なく、ほしい時間に運行していない。</li><li>・1時間に1本だと、逃した場合に帰りが遅くなる。</li><li>・本巣松陽高校から南の方向へ帰宅するのにバス本数が少ない。</li></ul> <p><b>【運行時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大野穂積線の穂積駅からの最終便が早い。</li><li>・岐阜駅に8時頃に到着する直行便を新たに運行する。朝のみの運行でもよい。</li><li>・大野バスセンター方面から本巣松陽高校に登校するのにちょうど良い時間のバスが欲しい。</li></ul> <p><b>【所要時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・目的地に着くまでに時間がかかる。</li><li>・忠節橋経由のバスは朝非常に混雑。岐阜市内に入るとアナウンス無しで乗車拒否が発生することもある。</li><li>・遅れも酷く、忠節橋周辺で遅延する。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野穂積線の快速便は意味がなく、時間がかかりすぎる。快速便の停車バス停をさらに削減する。</li> <li>【施設】</li> <li>・バス停には駐輪場が必要。</li> <li>【運賃】</li> <li>・バス料金が年々高くなっている。</li> <li>・片道400円かかると、自転車を選択する。</li> <li>・鉄道と相互利用ができないため、アユカは不便。</li> <li>・岐阜方面へは運賃が高く、定期も名鉄時代の3～4倍となっている。通学定期補助があると公共交通を利用しやすい。</li> <li>・片道定期があると良い。</li> <li>【その他】</li> <li>・回送車両が多くもったいない。</li> <li>・目的地までのバス路線が分からない。</li> <li>・本巣地域から穂積駅の直通バスが無い。せめて本庁舎までは乗り入れてほしい。</li> <li>・モレラから穂積駅まで行くバスがあることをもっと周知すべき。</li> </ul>
--	---

## ③市営バス（根尾地域）

利用実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運転手が地域の高齢者の安否確認の役割を担っている。</li> <li>・バスの中は社交場となっており、知らない人同士だとしてもおしゃべりをして交流をする。</li> </ul>
問題点・改善要望	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所へ行く便があっても、診察が長引くと帰りの便が合わなくなり、帰りはタクシーを使うこともある。</li> <li>・市営バスは1日5本しかないため、診療所にバスに来たとしても帰りの便が4時間後になってしまい長い。10時台にバスがあるとよい。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本巣北部線のようにフリー乗降区間を設定してほしい。</li> </ul>

## ④市営バス（本巣・糸貫・真正地域）

利用実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モレラ岐阜へ行く際に利用している。</li> </ul>
問題点・改善要望	<p>【運行日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日運行していないため、バスが生活のすべてを決めてしまう。</li> <li>・まとまった利用があれば、毎日運行をしては。</li> <li>・土日でも運行してほしい。</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会が独自に運行している買い物バスのように、目的に特化したものに変更しては。</li> <li>・役所、モレラ、病院等を基点に、月～金で5種類のルートを設定し、市内を細部まで回れるコースにしてほしい。</li> <li>・月に一回、本巣市の観光施設（資料館や糸貫の販売所など）をバスでまわって楽しみたい。有料で良い。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納後の生活のため、各自宅前を経由して市営バスを走らせてほしい。</li> <li>【運行時間】</li> <li>・朝・夕は運行していないため、通勤・通学では利用できない。</li> <li>・学校の時間とダイヤをあわせて運行する。</li> <li>【所要時間】</li> <li>・乗車時間は30分が限界。</li> <li>・市内の良い病院はほぼ網羅されているが、その分時間がかかる。</li> <li>・目的地までの所要時間が長く、通勤・通学では利用できない。</li> <li>・通学に使うには時間がかかるので、飲み物などのサービスがほしい。</li> <li>【バス停】</li> <li>・バス停がもっと近くにできると良い。</li> <li>・手をあげると止まってくれると良い。</li> <li>・本巢北部線のようにフリー乗降区間を設定してほしい。</li> <li>・駐輪場が必要。</li> <li>【運賃】</li> <li>・定期的に使う人にとっては100円でも負担となる。無料のままが良い。</li> <li>・基本的には有料とし、年齢によっては無料にするなど、別途支援してはどうか。</li> <li>【情報提供・周知】</li> <li>・目的地までのバス路線が分からない。</li> <li>・無料で利用できることを市民が知らない。</li> <li>・手紙でお知らせがきても無くしてしまう。</li> <li>・広報にお知らせを挟んでほしい。</li> <li>・中学校、高校にも時刻表を配布する。</li> <li>・外国人にも利用してもらえるようPR。企業で働く外国人対応として多言語化（ベトナム語、中国語）。</li> <li>・モレラはウォーキングスポットになっている。バスを使ってモレラに行き、ウォーキングすることを健康の観点からPRする。</li> </ul>
--	---

## ⑤ タクシー

利用実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車がなく、免許がない人はタクシー券がもらえる。</li> <li>・タクシー券はあるが、短い距離の移動のために遠いところからタクシーに来てもらうことが申し訳ない。</li> </ul>
問題点・改善要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>【タクシー券】</li> <li>・タクシー券を利用して移動できる距離が短い。</li> <li>・タクシー利用券を2～3枚合わせて使えるようにしてほしい。</li> <li>・市営バスの利用者がいないのならタクシー助成に変更しては。</li> <li>・独居の身としては、タクシー助成の方が使いやすい。</li> <li>【待機所】</li> <li>・バス停にタクシーの待機所位置図を表示すると、意外と近くから来てもらえると思ってもらえて利用促進になるのではないか。空家を利用して根尾タクシーの待機場所を増やすと良い。</li> </ul>

## ⑥交通拠点（モレラ岐阜）

利用実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>モレラのバス停からバローまでが遠いため、モレラは買い物では利用されていない。買い物はトミダヤや他のバローを利用する。モレラはあくまでも乗り継ぎポイント。</li> </ul>
問題点・改善要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場が少ない。</li> <li>開店前は、店舗を横断できない。</li> <li>モレラのバス乗り場に一般車が停まっており邪魔になるときがある。</li> <li>駐車場を活用してパーク&amp;バスライドができると良い。</li> <li>施設の西側にバスターミナルがほしい。</li> <li>東西に走るバス路線と南北に走る鉄道をうまく接続させる。</li> <li>新庁舎の場所が関シティターミナルのようになると良い。</li> </ul>

## ⑦地域公共交通ネットワーク全体

利用実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道からバスへの乗り継ぎはよく行われている。（モレラ岐阜駅、北方真桑駅、本巣駅、美江寺駅）</li> </ul>
問題点・改善要望	<p><b>【乗継】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗り継がないと目的地に着けない。</li> <li>公共交通機関間の乗り継ぎが難しい。</li> <li>帰宅時に樽見鉄道とJRとの接続が悪い時がある。乗り継ぎ時間が1～3分しかない。</li> <li>バスの乗継が分かりにくく、違うバスに乗ってしまうことがある。</li> </ul> <p><b>【情報提供】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗継の調べ方を周知してほしい。</li> <li>市営バスだけでなく、すべての公共交通を網羅した情報がほしい。</li> <li>バス停に分かりやすい掲示板、番号表示があると良い。</li> <li>普段利用しないと時刻表の見方がわからない。駅など乗継場所に人を置いて、説明してもらえると良い。</li> <li>バス、タクシー、鉄道それぞれの役割を補い合って公共交通を利用できるようPRできるとよい。</li> </ul>

## ⑧その他

実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>真正地域からは、大垣商業高校まで自転車で通学している。</li> </ul>
問題点・改善要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>今は自動車が運転できるため公共交通の問題が自分事ではない。</li> <li>自動車に乗れない学生や高齢者のことを考える必要がある。安心して返納できない。</li> <li>中学生を対象としたアンケートを実施し、高校進学先への公共交通の影響を把握する。</li> <li>大垣商業高校までの通学に利用できるよう、名阪近鉄バスを本巣市内に延伸してもらえないか。</li> <li>バス以外の選択肢として、シェアサイクル、免許のいらぬ乗り物などを導入する。</li> <li>自転車でもわる道（サイクリングロード）を整備する。</li> </ul>

---

## 第4章 地域公共交通の課題

### (1) 市営バス

#### 1) 認知度向上

- ①市営バスが運行ルート、停留所の位置や無料であることを知らない人が多い。
- ②運行情報は、市ホームページや「広報もとす」にガイドブックの配布しているものの、情報が十分に伝わっていない。
- ③市営バスを含む乗り換え情報を、経路検索サイト等で検索出来ることの周知が不足している。

#### 2) 利便性向上

- ①停留所が遠いために利用できない。
- ②根尾診療所からの帰宅に適切な便が無く、待ち時間が長い。
- ③市営バスが使いにくいいため、運転免許証が返納できない。
- ④目的地までの所要時間が長すぎる。
- ⑤いまだにバス路線が運行していない。(交通空白地)

### (2) 路線バス

#### 1) 現行路線バスの利便性向上

- ①岐阜市方面への路線は運行本数も多く、深夜便もあるため、利用者数は増加傾向にあるが、利用したい時間に運行していない、本数が少ない。
- ②通学で利用するには、岐阜駅までの所要時間が長く、滞在により遅延が発生する。
- ③バスを含む乗り換え情報を、経路検索サイト等で検索出来ることの周知が不足している。

#### 2) 穂積駅へのアクセス強化

- ①さらなる穂積駅方面への利便性の向上。
- ②本巣地域から穂積駅へのアクセス強化が望まれている。(本巣・糸貫地域からも穂積駅に行ける路線の検討、樽見鉄道との乗り継ぎの利便性向上など)

### (3) 樽見鉄道

#### 1) 認知度向上

- ①運行情報(増便となったことを含む)は、市ホームページや「広報もとす」にガイドブックの配布しているものの、情報が十分に伝わっていない。
- ②沿線観光スポットやお店の情報などのPRが不足している。
- ③鉄道とバスの乗り換え情報を、経路検索サイト等で検索出来ることの周知が不足している。

#### 2) 利便性向上

- ①更なる増便や樽見駅行きの最終便の繰り下げ。
- ②JR等の他路線と比較して通学定期の割引率が低い。



③駅とバス停が離れているなど、バスとの乗り継ぎ環境が悪い。

#### (4) 地域公共交通ネットワーク

##### 1) 交通結節機能の強化

- ①樽見鉄道の駅と路線バスのバス停が離れており、乗り継ぎが不便。
- ②主要駅・主要停留所に駐車場がない。
- ③モレラ岐阜を交通拠点とした利便性の向上。  
(樽見鉄道ー路線バスー市営バスまたは樽見鉄道・路線バスー自動車・自転車の乗り継ぎなど)

##### 2) わかりやすい情報の提供

- ①目的地までの最短経路や時刻表、目的地までの運賃、乗り換え方法等がわからない。
- ②公共交通の乗り換え情報を、経路検索サイト等の周知が不足している。
- ③インターネットを利用しない高齢者等への情報提供方法の検討も必要である。

#### (5) その他

##### 1) 高齢運転者の公共交通への転換（運転免許証の自主返納促進）

- ①高齢運転者起因事故率が上昇していることから、高齢者の運転免許証自主返納の促進。
- ②自動車から公共交通への促進策の推進。

##### 2) 福祉政策との連携

- ①高齢者が増加している背景から、昼間時に公共交通機関の利用を希望される方が多い。
- ②現在取り組んでいる高齢者へのタクシー利用助成事業と連携するとともに、社会福祉協議会とも情報連携が必要である。

##### 3) 観光政策との連携

- ①鉄道は、観光目的での移動にも活用されていることから、観光部局等と連携が必要。
- ②市営バスの、道の駅等における、観光やレジャー目的での利用の検討。

##### 4) 地域住民との協働

- ①公共交通の必要性理解のため、地域住民と連携した取り組みが必要である。
- ②樽見鉄道市民駅長の継続。

##### 5) 社会基盤整備に伴う地域公共交通ネットワークの検討（将来的な課題）

- ①新庁舎整備検討に伴い、新たな交通拠点及び交通結節点の模索とバス路線の見直し検討が必要である。
- ②東海環状自動車道開通に伴い、都心部への高速バスなどの広域的な公共交通網の検討が必要である。

## 第5章 基本的な方針

### (1) 上位・関連計画

本市の上位計画及び関連計画では、市が目指す将来像として、次のような基本理念や事業等が示されています。

#### **本巢市第2次総合計画 基本構想（2016～2025）【計画期間：10年】**

- 目指す将来像：自然と都市の調和の中で 人がつながる 活力あるまち・本巢
- 重要政策課題：地域の実情に適した住環境やコミュニティづくり
  - ・自然環境や人口など南部地域と北部地域では、生活環境が大きく異なり、それぞれ実情に適した環境整備を市民と行政との協働で行います。バスや鉄道など公共交通機関の見直し、市民の暮らしを支え、親しまれる公園などの整備、ともに支え合う地域コミュニティづくり、空家や空地について活用を含めた対策を講じます。
- まちづくりの方向性
  - ・市営バスについては、高齢者福祉や教育の面からも、市民の移動手段としての利便性向上を図ります。また、バスや樽見鉄道など公共交通機関のネットワーク化に努めます。
  - ・樽見鉄道は近隣自治体との連携を深め、利用促進に努めます。

#### **第1期本巢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019）【計画期間：5年】**

#### **本巢市人口ビジョン（2015～2040）【計画期間：25年】**

- 総合戦略における施策：4. 暮らしの安全・安心の確保
- 施策の基本的方向と具体的な施策：③生活交通の利便性の確保
  - ・市内では、市営バス、岐阜バス、樽見鉄道が市民の移動手段として利用されています。これらをより有効に、より機能的に連携することにより、市民交通の利便性を高めていきます。また、交通弱者に対する移動手段の更なる確保に努めていきます。
  - ・市民がより暮らしやすいまちにするため、市民ニーズにあった市営バスの運行形態にしていくとともに、民間の交通事業者と連携を図りながら公共交通の利便性の向上を図ります。
  - ・身体的・地理的事情により鉄道やバスを利用することができない高齢者の移動手段として、タクシーの利用を支援することで、外出の機会の確保と健康増進及び介護予防に努めます。
  - ・重度障がい者の日常生活の利便性向上や社会生活の範囲を広げるため、タクシーの利用を支援し、社会参加の促進を図ります。

**本巢市都市計画マスタープラン（2018～2025）【計画期間：8年】**

●目指す将来像：自然と都市の調和の中で 人がつながる 活力あるまち・本巢

## ●交通拠点

- ・広域的な道路ネットワークの拠点として「(仮称)糸貫IC 周辺」、市内及び近隣市町との公共交通によるネットワーク化の核となる拠点として「樽見鉄道モレラ岐阜駅周辺」、市内の公共交通ネットワークの主要な拠点として「樽見鉄道樽見駅周辺」及び「樽見鉄道本巢駅周辺」を位置づけます。

## ●整備・誘導の方針

- ・「コミュニティ拠点」として位置づけた地域では、市民の生活の拠点として、商業、医療・福祉等の機能の導入を検討します。また、各コミュニティ拠点間や樽見鉄道モレラ岐阜駅周辺とは、バス等を中心とした公共交通によるネットワーク化を推進します。
- ・樽見鉄道モレラ岐阜駅周辺を拠点として、利便性向上のための周辺基盤整備や広域的な連携も含め、公共交通のネットワーク化を推進します。
- ・交通拠点の樽見鉄道樽見駅、樽見鉄道本巢駅については、利便性向上のための周辺基盤整備や市内のコミュニティ拠点を結ぶ公共交通のネットワーク化を推進します。
- ・交通弱者等の移動を支え、渋滞緩和にも資する交通手段として樽見鉄道の利用を促進するため、沿線市町における認識の共有を図り、利用促進に向けた取り組みを検討します。
- ・市内の樽見鉄道の駅については、自然や歴史・文化を活かした集客展開を図るため、市民主体の取り組みとあわせて、駅周辺の観光資源等の情報発信や環境美化等の取り組みを進めます。また、鉄道と沿線の観光資源との連携により、鉄道利用者の増加を目指します。
- ・市営バスの運行ルートや便数を見直し、市民の利便性を高めます。また、利用しやすいバスのあり方として、他市町と連携して路線の再編を検討します。

**本巢市第3期地域福祉計画（2018～2022）【計画期間：5年】**

●基本理念：ふれあい、つながり、支え合う

安心とやさしさに包まれたまち もとす

## ●地域福祉に関する重点課題：移動・外出

- ・運転免許証を自主返納した人、バス停や駅までの移動が困難な人、制度の狭間で移動に困難を感じている人のニーズの把握に努め、多様な視点で、効果的かつ効率的な方法を検討していく必要があります。

## ●施策：社会参加を支える移動手段の基盤づくり

## ①有効な移動手段の検討

- ・運転免許証を自主返納した人、バス停や駅までの移動が困難な人、福祉有償運送や介護タクシー等の制度の狭間で移動に困難を感じている人のニーズの把握に努め、高齢者や障がいのある人等の社会参加につながる移動支援のあり方について、タクシーの利用助成やコミュニティバスの運行等も含め 多様な視点で、効果的かつ効率的な方法を検討していきます。

## ②福祉有償運送の推進

- ・住民主体の外出支援である福祉有償運送が円滑に実施でき、サービスの安定した供給ができるよう、担い手の確保・育成など活動の支援に努めます。

## ③ボランティア等による移動手段の確保

- ・自動車を運転できない人の社会参加を促進するため、ボランティア等による移送サービスの立ち上げを支援します。なお、担い手にあっては、福祉有償運送も含め、地域の埋もれた人材を発掘する契機として捉え、その育成を積極的に支援していきます。また、地域の実情に合った柔軟な移送サービスの方法を検討していきます。

## ④公共交通における利便性の確保

- ・高齢者や障がいのある人が、安心して公共交通機関を利用できるよう、交通事業者との連携を強化し、利便性の高い運行体系や誰もが利用しやすい車両の普及などを促進します。また、より実効性のある移動支援として、公共交通機関の利用を促進する方策を検討していきます。

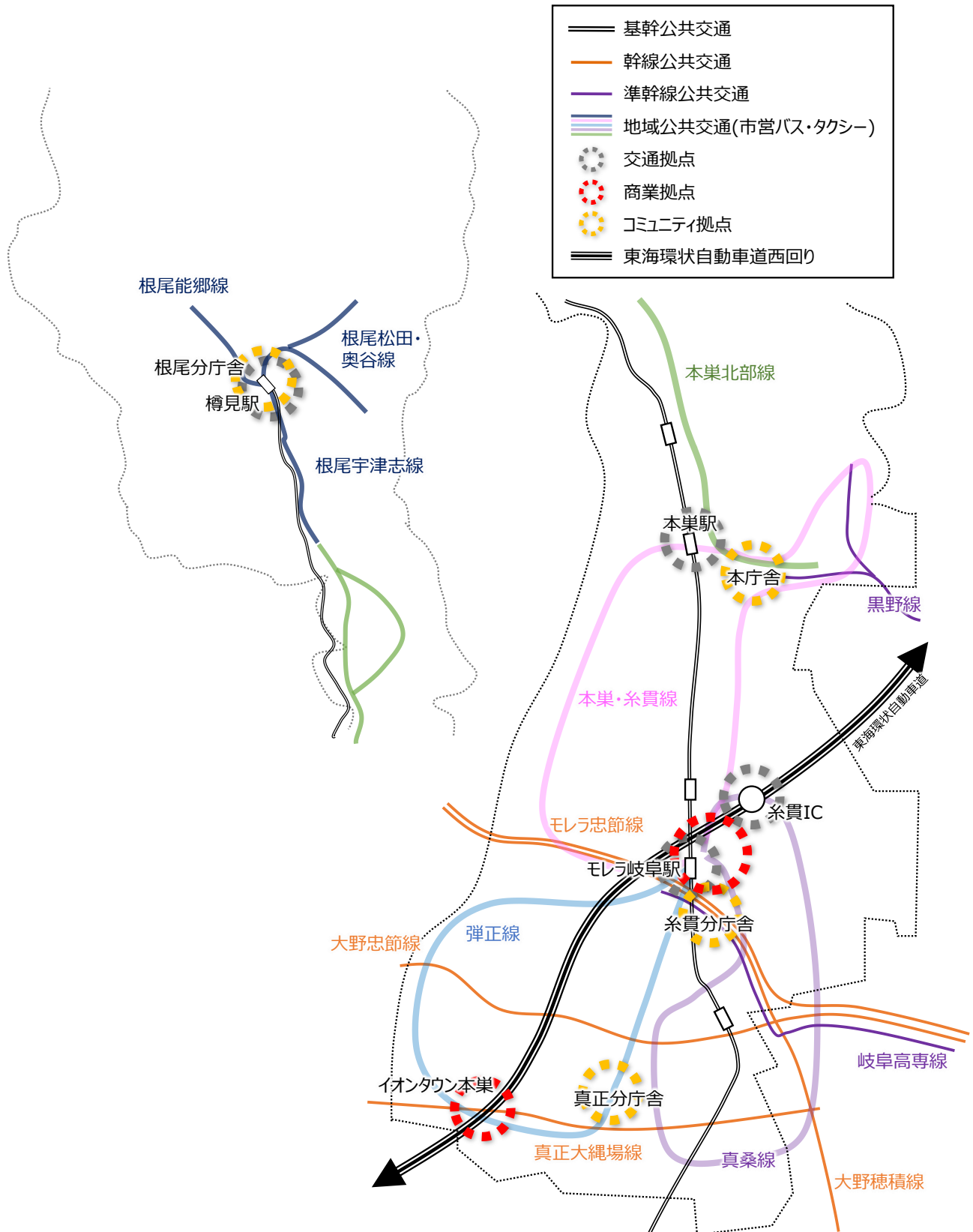




### (3) 取り組みの方向性

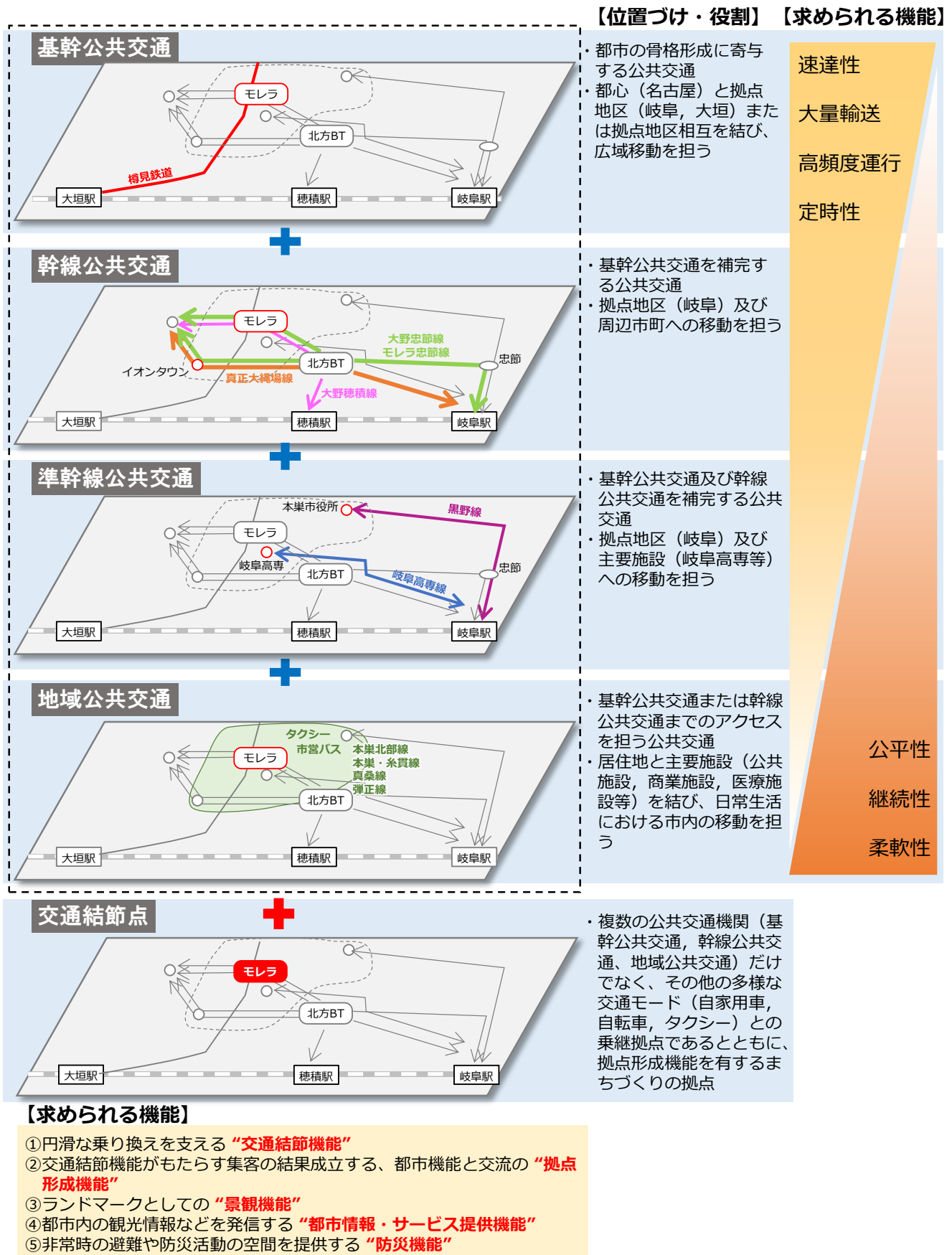
「人がつながる活力あるまち」を目指し、各都市拠点（コミュニティ拠点，商業拠点，交通拠点）を結んでいる既存の各地域公共交通を維持しつつ、より一層利便性の向上を図るとともに、各地域公共交通間の結節を強化した地域公共交通ネットワークを構築します。

図表5-2 地域公共交通ネットワークイメージ図



(4) 地域公共交通ネットワークの分類と求められる機能

図表5-3 地域公共交通ネットワークの分類と求められる機能



## 第6章 計画の目標

### (1) 目標

#### 目標1：地域の特性に応じた地域公共交通の整備

本市は、4つの町村が合併して誕生したことから、旧町村ごとに地域特性が異なります。また人口構成などにも違いがあり、市民の公共交通に対する要望も様々であることから、多様なニーズに対応する必要があります。そのため、各地域の特性に応じた地域公共交通を整備し、市民の移動手段を確保します。

また、鉄道やバスといったサービスではカバーしきれないエリアや高齢者などの移動制約者に対しては、タクシーを活用し移動手段を確保します。

#### 目標2：わかりやすく、使いやすい地域公共交通環境の整備

公共交通を利用することに慣れていない人にとって、情報不足は利用の大きなハードルとなります。利用方法や運賃など利用するための基本的な情報をわかりやすく提供します。

市内を樽見鉄道、岐阜バス、市営バスが運行していますが、相互の連携は十分とは言えない状況です。市内最大の商業施設であるモレラ岐阜周辺は、樽見鉄道モレラ岐阜駅や岐阜バス及び市営バスのバス停があり、都市計画マスタープランにおいても、「市内及び近隣市町との公共交通によるネットワーク化の核となる交通拠点」として位置づけられています。そのため、モレラ岐阜の乗り継ぎ機能を強化し、より使いやすい地域公共交通を目指します。

#### 目標3：持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

市内を運行する地域公共交通は、いずれも通勤・通学、買い物、通院など市民の日常生活に欠くことのできない移動手段です。今後も、樽見鉄道、岐阜バス、市営バスの運行を維持していくために、市として一定の運行経費を負担していきます。同時に、地域公共交通の利用促進を行い、利用者数の増加に努めます。



## (2) 数値指標・目標値

## 目標1：地域の特性に応じた地域公共交通の整備

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
①根尾地域市営バス 利用者数	17,709人	14,000人
<u>目標値の考え方</u> ・地域の人口の減少に伴い、利用者数の減少が予想されますが、市民の日常生活に欠くことのできない公共交通であることから、効率的な運行を行うことで運行維持を目指します。		

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
②本巢・糸貫・真正地域市営バス 利用者数	24,056人	29,000人
<u>目標値の考え方</u> ・利用者数は増加傾向にあり、今後もフリー降車区間の設定など利便性向上により年3%程度の利用者増加を目指します。		

数値指標	現況値 (2019年度)	目標値 (2025年度)
③各方面への公共交通の充実度	岐阜市 35% 大垣市 37% 穂積駅 25% 本巢市内 30%	40%
<u>目標値の考え方</u> ・計画期間内に実施する各種事業により、各方面への公共交通充実度の向上を目指します。		

## 目標2：わかりやすく、使いやすい地域公共交通環境の整備

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
④市営バス 利用者の満足度	全体 83% 本巢北部線 83% 本巢・糸貫線 68% 真桑線 95% 弾正線 87%	85% 85% 70% 95% 90%
<u>目標値の考え方</u> ・各種事業や定期的なサービス改善（ルート・ダイヤの見直し）より、利用者の満足度の向上を目指します。		

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
⑤本巢・糸貫・真正地域市営バス モレラ岐阜バス停乗降者数	12,986人	13,900人
<u>目標値の考え方</u> ・モレラ岐阜において各地域公共交通間の結節を強化することで、乗り継ぎ利用者の増加が見込まれることから、モレラ岐阜バス停において年1%程度の乗降者数の増加を目指します。		

数値指標	現況値 (2019補助年度)	目標値 (2025年度)
⑥路線バス モレラ岐阜バス停降車人数	72,941人	77,460人
<u>目標値の考え方</u> ・モレラ岐阜において各地域公共交通間の結節を強化することで、乗り継ぎ利用者の増加が見込まれることから、モレラ岐阜バス停において年1%程度の降車人数の増加を目指します。		

### 目標3：持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

数値目標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
⑦樽見鉄道 運行経費負担	67,296千円	継続
<u>目標値の考え方</u> ・樽見鉄道は、市民の日常生活に欠くこのできない基幹公共交通であることから、運行経費の一部負担を継続し、運行維持を目指します。		

数値目標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
⑧市営バス 運行経費負担	31,706千円	継続
<u>目標値の考え方</u> ・市営バスは、市民の日常生活に欠くこのできない地域公共交通であることから、運行維持を目指します。		

数値目標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
⑨根尾地域市営バス 利用者1人あたり運行経費	877円/人	1,000円/人
<u>目標値の考え方</u> ・人口減少に伴う利用者数減少の中でも、運行の効率化等を図り、利用者1人あたり運行経費1,000円を目指します。		

数値目標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
⑩本巣・糸貫・真正地域市営バス 利用者1人あたり運行経費	672円/人	610円/人
<u>目標値の考え方</u> ・市営バス運行経費は人件費等の高騰により年1%程度増加、本巣・糸貫・真正地域市営バス利用者数は計画期間内に実施する各種事業により年3%程度増加すると想定し、現況値以下の利用者1人あたり運行経費を目指します。		

## 第7章 目標達成のための事業

### (1) 市営バスに関する事業

#### 1) 様々な媒体を活用した市営バスのPR

##### ① 車両自体を広報媒体としたPR

- ・バス車外に「無料で」「誰でも利用可能」であること記載したステッカーを貼り、市営バスのPRを行います。
- ・より多くの人の目に留まるよう、記載内容やデザインを工夫します。

図表7-1 車両を活用した周知イメージ



##### ② モレラ岐阜など主要施設におけるデジタルサイネージでのPR

- ・モレラ岐阜など主要施設のバス停にディスプレイを設置し、バスの時刻表や路線図、乗継情報などを紹介することで、利用者が自分で検索をしなくても必要な情報をその場で見ることができる環境を整備します。
- ・また同時に、デジタルサイネージを設置している施設の紹介や周辺施設、市内のイベント情報などを表示することで、バスだけでなく市の商業や観光等のPRも行います。

図表7-2 デジタルサイネージの例（岐阜駅）



③ SNS (FacebookやTwitter) によるPR

- ・スマートフォンを使い慣れた若い世代に向けたPRとして、バスの運行情報などをFacebookやTwitterなどのSNSを活用して発信します。

④路面表示によるPR

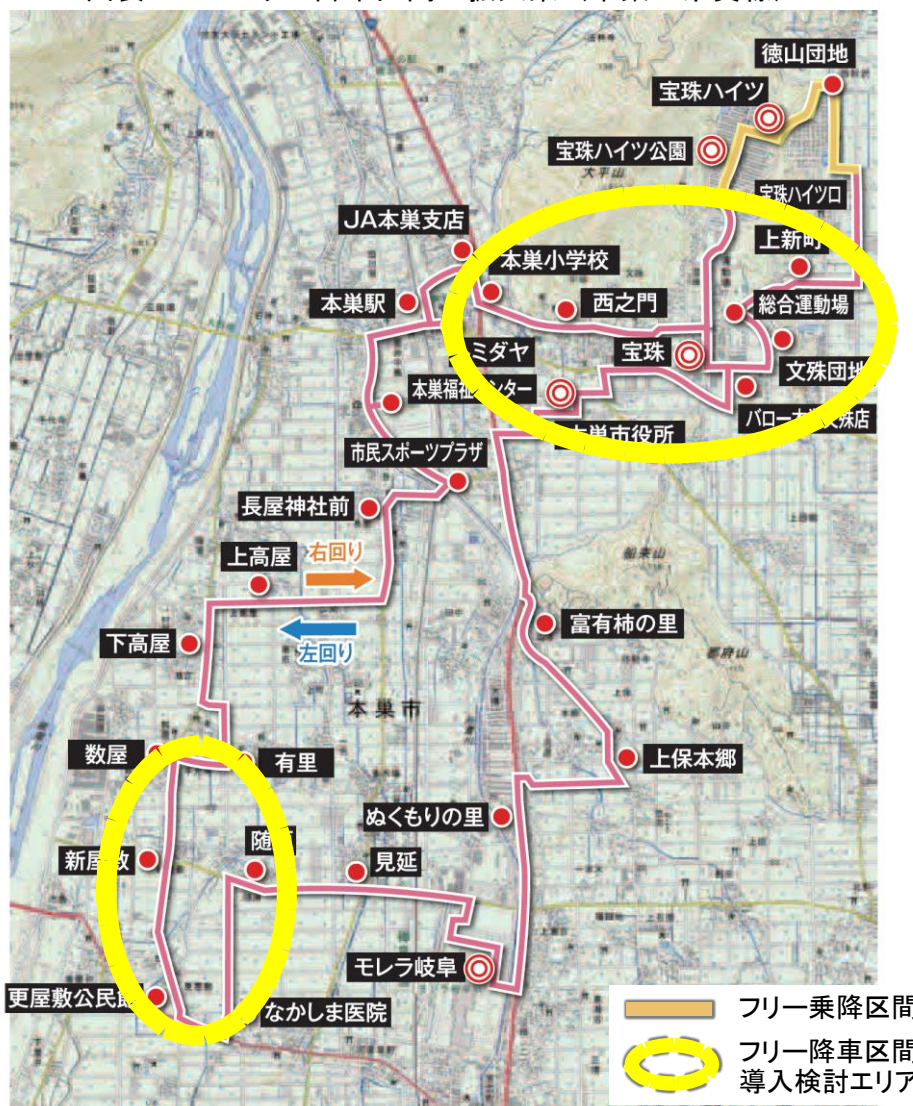
- ・道路へのバス停位置の表示や主要施設の周辺へのバスレーンへの着色などによるPRの検討をします。

## 2) カバーエリアの拡大

①フリー降車区間の拡大

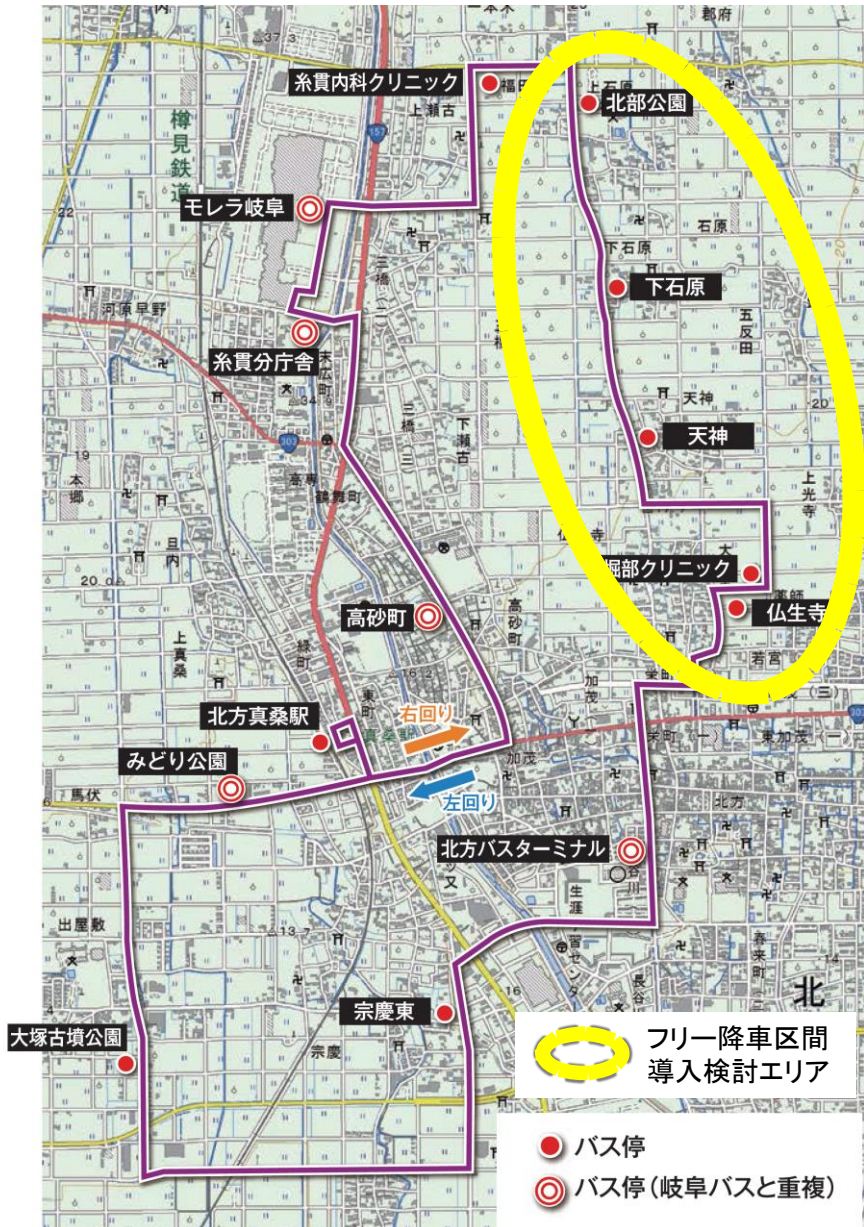
- ・バス停留所以外でも、ルート上の任意の位置で市営バスから降車できる区間の拡大を進めていきます。
- ・なお、安全確保のため、道路交通法等により駐車が禁止されている場所や停車すると危険な場所、幅員が狭い(2車線整備されていない)場所などは対象外とします。
- ・今後、交通管理者(公安委員会)等と協議の上、区間を設定していきます。

図表7-3 フリー降車区間の拡大案(本巢・糸貫線)





図表7-4 フリー降車区間の拡大案（真桑線）



図表7-5 フリー降車区間の拡大案（弾正線）



②停留所の増設（必要に応じてルート変更）

- ・フリー降車区間設定の検討を行った結果、幅員が狭いなど安全が確保できないと判断された区間においては、停留所の増設を行います。
- ・増設にあたっては、前後の停留所から一定の距離が離れているか、幅員が狭くても退避スペースがあり、安全に停車可能かを確認します。
- ・停留所の増設希望を出された箇所が、市営バスのルートから離れた位置の場合は、現在のバス利用者に影響のない範囲でルート変更を検討します。



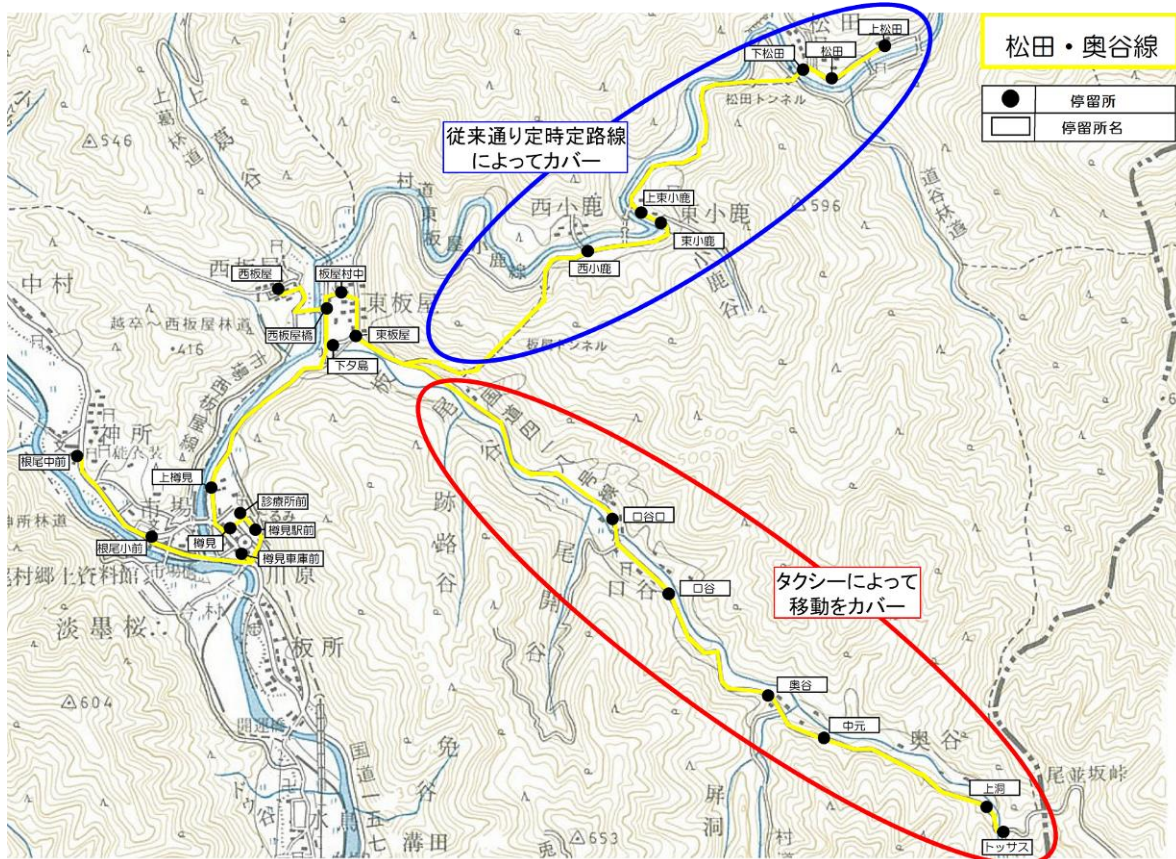
### 3) タクシーの活用

#### ①根尾松田・奥谷線の一部タクシーによるカバー

- ・根尾地域市営バスのうち、根尾松田・奥谷線は2つの谷筋を運行していることから、乗車時間が長く、利用者にとっても負担となっています。
- ・より効率的な運行のため、バス車両による運行を松田方面のみとし、奥谷方面はデマンド型乗合タクシー（注）の運行に切り替える事を検討しています。

注) 予約があった時のみ運行する方式で、自宅や指定場所から目的地まで乗り合わせて運行するタクシー。

図表7-6 根尾松田・奥谷線



## (2) 路線バスに関する事業

### 1) 大野穂積線のダイヤの見直し

- ・朝の穂積駅行きは、東海道線及び安八穂積線（名阪近鉄バス）との接続が可能となっています。しかし大野バスセンター行きは、本巣松陽高校等の近辺を通行するものの、運行時間帯が始業時間に対して、早い便と遅い便しかなく、通学に利用することが難しくなっています。
- ・路線沿線の高校の始業時間にあったダイヤとなるよう、運行事業者と協議・調整を行います。

図表7-7 大野穂積線 大野バスセンター行きの時刻表

穂積駅前	7:15	8:40	9:30
北方バスターミナル	7:31	8:56	9:46
本巣消防署前	7:33	8:58	9:48
高砂町(本巣松陽高校最寄)	7:35	9:00	9:50
モレラ岐阜	7:40	9:05	9:55
大野バスセンター	7:55	9:20	10:10

### 2) 大野穂積線の新規系統の導入

- ・大野穂積線の新規系統の導入については、快速便導入以降の利用状況等も確認しながら、沿線市町である本巣市・瑞穂市・大野町・北方町で構成する「2市2町広域公共交通連絡会議」にて検討を進めていきます。

### 3) 快速便の協議

#### ①真正大縄場線・モレラ忠節線での快速便の導入（岐阜方面）

- ・岐阜駅方面に向かう真正大縄場線やモレラ忠節線は、渋滞による大幅な遅延や乗客の積み残しが発生します。（特に悪天候時）
- ・2019年4月より大野穂積線で運行している快速便のように主要停留所のみ停車をする快速便を協議するなどし、利用者の心理的負担軽減を目指します。
- ・導入にあたっては、停車する主要停留所を過去の利用実績から設定し、運行事業者及び対象路線の沿線市町と協議・調整を行います。

### 4) 利用啓発

#### ①近隣市町との広域連携

- ・近隣市町との広域連携によるバスの利用啓発は、岐阜連携都市圏推進会議公共交通分野連携会議（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町で構成する会議）にて、広報紙やイベントの実施等により推進していきます。



### (3) 樽見鉄道に関する事業

#### 1) 運営支援の継続

- ・樽見鉄道は市内の南北移動や大垣方面への移動、観光客の移動手段としての役割を担い、基幹公共交通として欠くことのできない交通手段です。そのため、安全運行に必要な運営費や維持修繕費などについては、沿線市町と連携して引き続き支援していきます。

#### 2) 年間パスポートの導入

- ・樽見鉄道では、2020年4月から12箇月通学定期券の販売をします。市でも、年間パスポート販売のPRに努め、利用促進を図ります。

- ・発売期間：2020年3月18日（水）～2020年4月30日（木）
- ・有効期間：2020年4月1日（水）～2020年3月31日（水）
- ※紛失しても1回は手数料のみで再発行。

#### 3) 樽鉄シルバー会員の登録促進

- ・樽鉄シルバー会員（65歳以上対象、1回190円ですべての区間に乗車可能）の登録を促進し、利用者数増加を図ります。

概要：樽鉄シルバー会員

- ・沿線5市町（大垣市、瑞穂市、本巣市、北方町、揖斐川町）に在住の65歳以上が対象
- ・初乗り運賃額で終点までのどの区間でも乗車できる特別割引運賃企画

#### 4) イベント列車の充実

- ・毎年淡墨桜の開花に合わせて運行される桜列車や薬草列車、しし鍋列車など、観光での利用促進に寄与しているイベント列車のPRを継続して実施していくよう促します。
- ・サイクルトレインをはじめ、新たなイベント列車の企画提案や企画切符購入に対する助成等を行い、更なる利用促進を図ります。

図表7-8 イベント列車等の運行状況

桜輸送	毎年4月1日～15日
薬草列車	5月～11月の毎週木・金曜日（予約制）
しし鍋列車	1月～2月の原則毎週木曜日（予約制）
たにぐみ盆梅展列車	2月～3月（予約制）
紅葉列車	大手旅行社との企画商品
富有柿列車	2017年11月～12月に運行
運転体験講習会	随時受付（団体のみ）

## 5) 地域協働による無人駅の管理

- ・樽見鉄道の無人駅には市民駅長が任命され、清掃や定期巡回などの役割を担っています。
- ・今後も取り組みを継続し、沿線市町で組織する樽見鉄道連絡協議会において支援していきます。

## (4) 地域公共交通ネットワークに関する事業

### 1) 経路検索サイトでの乗継情報等の提供を周知

- ・市内を運行する公共交通は、Googleマップや経路検索サイト（ジョルダン、NAVITIME、駅すばあとなど）で時刻表や運賃を検索することが可能となっています。
- ・乗継情報を検索可能であることを知らない市民も多いことから、広報やSNS、ケーブルテレビ、バス車内など様々な手段で周知を行います。

図表7-9 経路検索サイト対応状況（2020年1月末時点）

	樽見鉄道	岐阜バス	市営バス
Googleマップ	○	○	○
ジョルダン	○	○	○
NAVITIME（ナビタイム）	○	×	○
駅すばあと	○	×	○

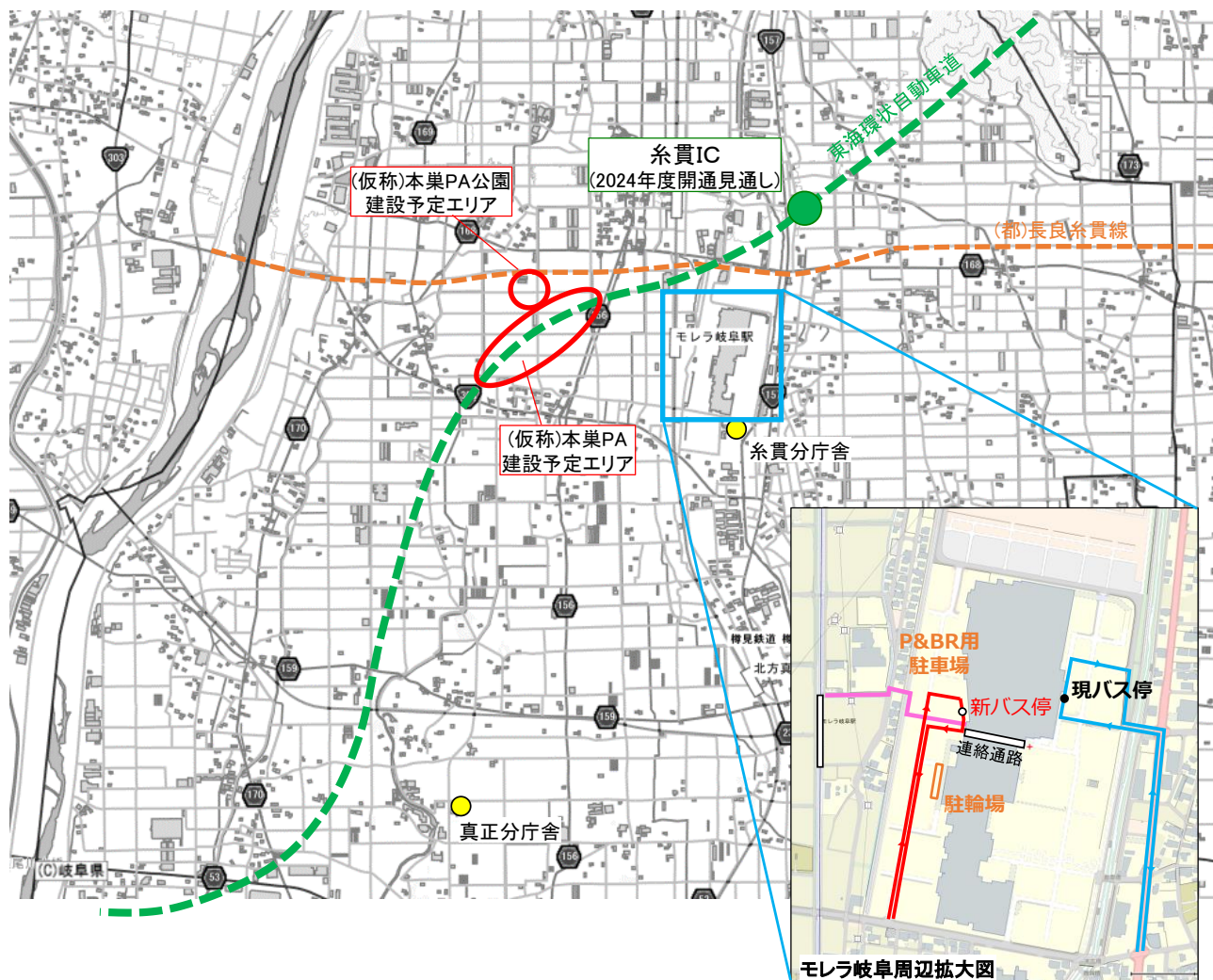
### 2) 既存駐車場の有効活用

- ・パーク&バスライド用駐車場の適地について調査・検討します。

### 3) モレラ岐阜の路線バス・市営バス停留所の移設

- ・路線バス及び市営バスと樽見鉄道との乗継利便性を向上するため、施設及び路線バス運行事業者と停留所の移設（西ROSEGATE）について協議を行います。
- ・停留所の移設が困難である場合は、施設オープン前の連絡通路の開放の実現を目指します。

図表7-10 バス停移設及び駐輪所・駐車場移設のイメージ



### (5) デマンド交通の検討

- ・公共交通機関の利便性が悪い地域を対象に新たな交通機関としてデマンド交通の導入がなされてきている自治体もありますが、本市においては、令和元年度以降高齢者へのタクシー利用事業が拡大されてきており、デマンド交通の利用対象者が重複することから、本計画においては、デマンド交通の導入は交通環境の変化を注視し引き続き検討します。

## (6) その他の事業

### 1) 高齢者支援

#### ① 高齢者タクシー利用助成事業【継続】

- ・自動車運転免許証を持たない高齢者の移動手段を確保するため、福祉サービスとしてタクシー利用助成事業が拡大・継続されています。

#### 対象者

- ・市内在住の75歳以上の高齢者で、運転免許を持っていない方
- ・ただし、次の場合は交付対象外
  - >同一世帯内に、75歳以上で運転免許を持っている者がいる場合
  - >同一年度内に本巢市重度障がい者タクシー利用助成事業による助成を受けている場合
  - >社会福祉施設等に入所している場合
  - >病院に入院している場合
  - >本巢市高齢者タクシー利用助成事業実施要綱及び本巢市重度障がい者タクシー利用助成事業実施要綱の規定により、乗車券の返還を求められたことがある場合

#### 助成内容

- ・一定枚数のタクシー利用助成券を発行

#### ② 運転免許証自主返納高齢者支援事業【継続】

- ・高齢者の運転免許証自主返納を促進するため、運転免許証自主返納高齢者支援事業を継続します。

#### 対象者

- ・市内在住の75歳以上の高齢者で、運転免許証を自主返納した方
- ・ただし、免許取り消しとなった方は交付対象外

#### 助成内容

- ・樽見鉄道の乗車券（片道全区間有効）を年間一定枚数交付

### 2) その他福祉政策との連携

- ・公共交通ではカバーしきれない外出要望に対しては、一部の自治会で目的に特化したバス（買い物バス）の運行が自主的に行われています。
- ・社会福祉協議会等と連携し、買い物支援など福祉的な面のカバーを進めます。

### 3) 観光政策との連携

- ・利用促進や認知度向上のため、観光部局や観光協会と連携し、鉄道やバスを活用した市内観光施設の周遊イベント等を企画します。
- ・イベント等の企画・実施には、樽見鉄道の市民駅長や自治会など、地域住民とも連携していきます。

#### 4) 出前講座の開催

- ・公共交通の認知度を向上するため、定期的に出前講座を開催します。
- ・出前講座では、公共交通の利用状況などの情報提供に加え、乗り案内やマイ時刻表の作成、スマートフォンでの乗継検索の方法などを周知します。

(7) 実施スケジュール・実施体制

事業		2020	2021	2022	2023	2024	2025	実施主体
<b>市営バスに関する事業</b>								
様々な媒体を活用した市営バスのPR	車両自体を広報媒体としたPR	→ 常時実施 →						市
	主要施設におけるデジタルサイネージ	→ 場所の選定・協議 →		→ 情報の更新・維持管理 →				市・施設管理者 ・交通事業者
	SNSによるPR	→ 常時実施 →						市
カバーエリアの拡大	フリー降車区間の拡大	→ 対象区間の選定・実証実験 →		→ 実験結果を踏まえて本格運行の是非を判断 →				市
	停留所の増設	→ 実験後必要に応じて対応 →						市
タクシーの活用		→ 運行開始 →		→ 継続実施 →				市・交通事業者
<b>路線バスに関する事業</b>								
大野穂積線のダイヤの見直し		→ 利用状況を見ながら周辺市町と協議 →						市・周辺市町・ 交通事業者
大野穂積線の新規系統の導入		→ 利用状況を見ながら周辺市町と協議 →						市・周辺市町・ 交通事業者
快速便の協議		→ 利用状況を見ながら周辺市町と協議 →						市・周辺市町・ 交通事業者
利用啓発	近隣市町との広域連携	→ 常時実施 →						市
<b>樽見鉄道に関する事業</b>								
運営支援の継続		→ 継続実施 →						市
年間パスポートの導入		→ 新規導入 →		→ 継続実施 →				交通事業者
樽鉄シルバー会員の登録促進		→ 常時実施 →						市・交通事業者
イベント列車の充実		→ 継続実施 →						交通事業者
地域協働による無人駅の管理		→ 継続実施 →						交通事業者
<b>地域公共交通ネットワークに関する事業</b>								
乗継情報等の提供の周知		→ 常時実施 →						市
既存駐車場の有効活用		→ 関係者との協議 →						市・施設管理者
モレラ岐阜のバス停留所の移設		→ 関係者との協議 →						市・施設管理者
デマンド交通の検討		→ 次期計画で検討 →						市

事業		2020	2021	2022	2023	2024	2025	実施主体
その他事業								
高齢者 支援	高齢者タクシー利用助成事業			継続実施				市
	運転免許自主返納高齢者支援事業			継続実施				市
その他福祉政策との連携				継続実施				市・施設管理者
観光政策との連携				継続実施				市・施設管理者
出前講座の開催				継続実施				市・施設管理者

## 第8章 計画の達成状況の評価

### (1) 評価方法

#### ①根尾地域市営バス 利用者数

- ・毎年、バス運行事業者が記録する日報データより利用者数を整理し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
根尾地域市営バス 利用者数	17,709人	14,000人

#### ②本巢・糸貫・真正地域市営バス 利用者数

- ・毎年、バス運行事業者が記録する日報データより利用者数を整理し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
本巢・糸貫・真正地域市営バス 利用者数	24,056人	29,000人

#### ③各方面への市内公共交通の充実度

- ・計画最終年度に市民アンケート調査を実施し、方面別（岐阜市方面，大垣市方面，穂積駅方面，本巢市内）の公共交通に対する評価で「十分に確保できている」「最低限確保できている」の割合を集計し、達成状況を評価します。

数値指標		現況値 (2019年度)	目標値 (2025年度)
市内公共交通の充実度	岐阜市方面	35%	40%
	大垣市方面	37%	
	穂積駅方面	25%	
	本巢市内	30%	

#### ④市営バス利用者の満足度

- ・毎年、市営バス利用者に対するアンケート調査を実施し、市営バスの満足度で「大変良い」「良い」の割合を集計し、達成状況を評価します。

数値指標		現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
市営バスの満足度	全体	83%	85%
	本巢北部線	83%	85%
	本巢・糸貫線	68%	70%
	真桑線	95%	95%
	弾正線	87%	90%



## ⑤本巢・糸貫・真正地域市営バス モレラ岐阜バス停乗降者数

- ・毎年、バス運行事業者が記録する日報データより乗降者数を整理し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
モレラ岐阜バス停乗降者数	12,986人	13,900人

## ⑥路線バス モレラ岐阜バス停降車人数

- ・毎年、岐阜バスの系統・停留所別利用実績データより降車人数を整理し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2019補助年度)	目標値 (2025年度)
モレラ岐阜バス停降車人数	72,941人	77,460人

## ⑦樽見鉄道 運行経費負担

- ・毎年、樽見鉄道に対する市の補助金額を整理し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
樽見鉄道 運行経費負担	67,298千円	継続

## ⑧市営バス 運行経費負担

- ・毎年、市営バスの運行にかかる経費を整理し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
市営バス 運行経費負担	31,706千円	継続

## ⑨根尾地域市営バス利用者1人あたり運行経費

- ・毎年、バス運行事業者が記録する日報データ及び市営バスの運行経費から、利用者1人あたりの運行経費を算出し、達成状況を評価します。

数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
市営バス利用者1人あたり運行経費	877円/人	1,000円/人

## ⑩本巢・糸貫・真正地域市営バス利用者1人あたり運行経費

- ・毎年、バス運行事業者が記録する日報データ及び市営バスの運行経費から、利用者1人あたりの運行経費を算出し、達成状況を評価します。

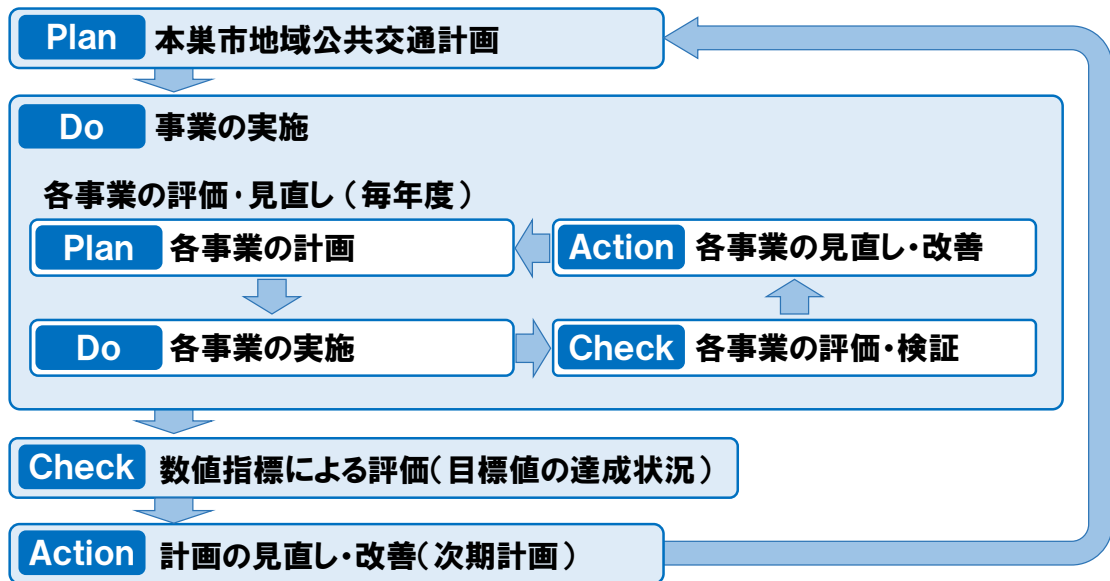
数値指標	現況値 (2018年度)	目標値 (2025年度)
市営バス利用者1人あたり運行経費	672円/人	610円/人

(2) 評価スケジュール（計画の進捗管理）

本計画に掲げる施策を着実に実施し、目指す将来の姿を実現するため、各事業の実施状況や評価指標の達成状況を定期的に把握し、計画の見直し等を通じて改善を図るPDCAサイクルを実施していきます。

PDCAサイクルの運用にあたっては、本市が事務局を務め、交通事業者や学識経験者等で構成される活性化協議会で、計画の達成状況を評価・検証し、必要に応じて取り組み内容やスケジュールを見直します。

なお、社会情勢等に変化があった場合は、計画期間内であっても、地域公共交通計画の見直しを行います。



	令和2年度	令和3～5年度	令和6年度
<b>P (計画)</b> 地域公共交通計画	計画策定 各事業の計画 必要に応じて見直し	各事業の計画 必要に応じて見直し	次期計画の検討
<b>D (実行)</b> 事業の実施	事業実施	事業実施	事業実施
<b>C (評価)</b> 数値指標による評価	目標値の 達成状況	目標値の 達成状況	目標値の 達成状況
<b>A (見直し)</b> 計画や事業の見直し・改善	見直し・改善	見直し・改善	見直し・改善